



## 第 3 次 大 和 市 生 涯 学 習 計 画

### 大項目 1 一人ひとりへの働きかけ



#### 中項目 (1) 情報の提供

< 目標 >

- ・生涯学習各関係機関の機能を明確にし、情報システムを確立するとともに、その普及・活用を図ります。

### 小項目 1 情報提供の充実

< 方針 >

- ・多様化した市民ニーズに応えるため、関連情報の収集・蓄積・提供の充実に努めます。
- ・市民が、いつでもどこでも自分にあった方法で情報が取得できるよう、情報誌やインターネットなど様々なメディアを使った情報提供に努めます。
- ・図書の利用促進と、図書館のレファレンス機能の充実に努めます。

#### 平成 19 年度 の 取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

##### (1) スポーツ施策管理事務

- ・スポーツ振興審議会を開催し、スポーツの普及・振興の施策について協議しました。

< 決算額の内訳 >

- ・委員報酬 116千円

##### (2) 生涯学習情報提供・学習相談事業

- ・庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

< 学習情報の提供実績 >

- ・サークル・団体情報 3,501件【3,222件】
- ・事業・講座情報 3,540件【2,026件】
- ・資格・試験情報 61件【27件】
- ・ボランティア講師制度情報 441件【150件】
- ・市民端末利用者数 17,820人【26,123人】  
(生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)
- ・その他 8,332件【5,884件】

< 決算額の内訳 >

- ・社会教育指導員報酬 3,240千円
- ・その他 321千円

### (3) 青少年センター運営事業

- ・青少年健全育成のため、青少年・青少年団体等へ施設の提供をしました。
- ・大和市のホームページの体系の中で、青少年関係のページの内容の充実と、情報の随時更新を行いました。

#### < 青少年センター利用者総数 >

・ 42,503人【47,241件】

#### < 青少年センター利用者の団体・個人別 >

・ 個人285人 団体での利用35,123人 自主事業4,283人

#### < 青少年センター利用者の区分別 >

・ 幼児8,226人 保護者7,585人 小学生6,391人  
中学生1,647人 高校生672人 学生962人 勤労青年2,386人  
指導者4,014人 その他 10,620人

#### < 情報提供項目数 >

56項目

#### < 決算額の内訳 >

・ 消耗品 697千円  
・ 複写機等リース 718千円  
・ その他 1,040千円

### (4) 図書資料貸出事業

- ・利用者が求める図書資料を収集しました。未所蔵の資料について、相互貸借システムなどにより提供しました。

蔵書冊数（市内図書施設合計） 390,187冊【388,394冊】

#### < 決算額の内訳 >

・ 窓口業務委託 32,465千円（図書館及び4図書室）  
・ 図書購入費 26,059千円  
・ 図書館システム賃借料 11,588千円  
・ その他 18,507千円

（図書館システム保守委託）

### (5) 図書のリサイクル事業

- ・リサイクルフェアの開催及び常設のリサイクルコーナーを設置しました。

### (6) 図書情報提供事業

- ・図書館ホームページでの蔵書検索、新着図書情報などを随時開示するとともに、更新頻度を高めました。
- ・インターネットによる予約を行いました。
- ・ブックリスト・図書館報を作成しました。

## 教育委員会の自己点検・評価

- ・ 達成度

特に方針の推進になった点

関連情報の収集や提供については、サークル団体情報の提供件数が3,222件の予定に対して3,501件の実績があるなど、情報提供を積極的に行っており、達成度は高くなっています。学習情報を主に提供している「生涯学習情報提供・学習相談事業」においては、インターネットや情報誌などを利用し、様々な提供を行いました。

未達成の点

ブックフェアについては、百科事典等情報の古いものは年々残っていく傾向があるため、予定数には達しませんでした。常設のリサイクルコーナーにより日々の利用が増えました。

- ・ 課題

情報提供については、概ねできていると思います。今後は、市民に単に情報を提供するだけでなく、市民がどのような情報を欲しているのかを的確に把握し、情報を整理・統合するとともに、誰にでもわかり易い情報の提供方法を常に考慮していきます。

## 大項目 1 一人ひとりへの働きかけ



### 中項目 (1) 情報の提供

<目標>

- ・生涯学習各関係機関の機能を明確にし、情報システムを確立するとともに、その普及・活用を図ります。

## 小項目 2 学習相談の充実

<方針>

- ・生涯学習情報システム「やまと生涯学習がいどぶっく電子版」等を活用した相談体制の充実を図ります。
- ・学習センターでの学習相談をはじめ、青少年センターや子育て支援センター等での教育相談等、市民一人ひとりの実情に合わせたきめ細かい相談事業の充実を図ります。

### 平成 19 年度の取組み<支えている事務事業>

【】内前年度

#### (1) 生涯学習情報提供・学習相談事業(再掲)

- ・庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

<学習情報の提供実績>

・サークル・団体情報	3,501件	【3,222件】
・事業・講座情報	3,540件	【2,026件】
・資格・試験情報	61件	【27件】
・ボランティア講師制度情報	441件	【150件】
・市民端末利用者数 (生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)	17,820人	【26,123人】
・その他	8,332件	【5,884件】

<決算額の内訳>

・社会教育指導員報酬	3,240千円
・その他	321千円

#### (2) 社会教育啓発事業

- ・家庭教育関係冊子の配布や人権啓発のためのビデオフィルムの貸出を行いました。

<決算額の内訳>

・人権・同和教育啓発用ビデオ	76千円
・その他(参考図書等)	67千円

#### (3) つる舞の里歴史資料館運営事業

- ・常設展を開催するほか、企画展を開催しました。

企画展 開催回数 1回【3回】

「寄木細工・伝統工芸への道」

開催期間：平成19年11月22日～12月16日 入場者：741人

- ・また、資料管理、来館者への説明、普及事業などを行い、市民の方々の歴史にす

る理解を深めました。

< 決算額の内訳 >

- ・企画展示パネル等作成委託料 1,417千円
- ・収蔵資料密閉燻蒸委託料 439千円
- ・その他(消耗品ほか) 1,081千円

(4) 青少年相談・街頭補導事業

- ・電話・来室で相談を受け、問題解決を支援しました。

電話相談件数 393件【474件】

来室相談件数 212件【181件】

継続相談 102件【136件】

- ・専門街頭指導員と青少年相談員による街頭補導を行いました。

街頭補導回数 413回【317回】

街頭補導従事者数 1,187人【1,275人】

< 決算額の内訳 >

- ・心理カウンセラー、相談員、専門街頭指導員等報酬 25,238千円
- ・その他 2,186千円

(5) 図書情報提供事業(再掲)

- ・図書館ホームページでの蔵書検索、新着図書情報などを随時開示するとともに、更新頻度を高めました。
- ・インターネットによる予約を行いました。
- ・ブックリスト・図書館報を作成しました。

## 教育委員会の自己点検・評価

・ 達成度

特に方針の推進になった点

情報の提供に合わせ、市民からの生涯学習などの相談に対しては、サークル団体の運営相談などきめ細かい対応を行っており、概ね達成できています。

未達成の点

青少年センターへの新規相談件数については、前年度の件数を予定数に見込みましたが、平年並みの相談件数でした。

・ 課題

相談件数が多ければ、良い結果であるとは、一概には言えません。相談内容によっては、相談件数が少なくなったほうが良い場合もあります。

市民の需要を把握しながら情報提供を行うとともに、多様な相談に応じる職員の資質の向上や関係機関との一層の連携を図ります。

また、生涯学習センター、青少年相談室では様々な相談を行っていることについて、広く周知していきます。

## 大項目 1 一人ひとりへの働きかけ



### 中項目 (1) 情報の提供

<目標>

- ・生涯学習各関係機関の機能を明確にし、情報システムを確立するとともに、その普及・活用を図ります。

## 小項目 3 支援者の充実

<方針>

- ・生涯学習活動を支援する行政側のスタッフ（学習相談員、社会教育指導員、社会教育主事、司書等）の充実に努めます。
- ・地域における人材情報の収集・蓄積・提供を行い、生涯学習ボランティア講師の充実に努めます

### 平成 19 年度の取組み <支えている事務事業>

【】内前年度

#### (1) 社会教育啓発事業（再掲）

- ・家庭教育関係冊子の配布や人権啓発のためのビデオフィルムの貸出を行いました。

<決算額の内訳>

- ・人権・同和教育啓発用ビデオ 7 6 千円
- ・その他（参考図書等） 6 7 千円

#### (2) つる舞の里歴史資料館運営事業（再掲）

- ・常設展を開催するほか、企画展を開催しました。

企画展 開催回数 1 回【3 回】

「寄木細工・伝統工芸への道」

開催期間：平成 19 年 11 月 22 日～12 月 16 日 入場者：741 人

- ・また、資料管理、来館者への説明、普及事業などを行い、市民の方々の歴史に対する理解を深めました。

<決算額の内訳>

- ・企画展示パネル等作成委託料 1,417 千円
- ・収蔵資料密閉燻蒸委託料 439 千円
- ・その他（消耗品ほか） 1,081 千円

#### (3) スポーツ指導者育成支援事業

- ・大和市体育指導委員連絡協議会に対して補助金を交付します。
- ・他市交流研修会を実施しました。（伊勢原市・寒川町・大和市 64 名参加）
- ・神奈川県体育指導委員連合会研修会へ派遣しました。（3 回 延べ 69 名参加）
- ・関東体育指導委員研究大会へ派遣しました。（山梨県 14 名参加）
- ・全国体育指導委員研究協議会へ派遣しました。（新潟県 14 名参加）

<決算額の内訳>

- ・非常勤特別職員報酬 6,173 千円
- ・その他 647 千円

#### (4) 社会教育関係団体登録・育成事業

- ・社会教育関係団体登録の継続認定のための届出書を提出する際に、望まれる団体活動についての助言を行いました。新規認定の際は、社会教育関係団体に求められる使命を十分説明し、その適格性を確認するために当面の活動状況を確認した後に認定しました。また、利用登録団体及びサークル等からの様々な随時相談時や年1回行う施設利用者懇談会、生涯学習説明会においても、機会あるごとにより良い団体運営・活動のあり方などについて説明を行いました。

#### (5) 青少年指導者育成支援事業

- ・青少年健全育成団体への支援、青少年センターまつりの開催、青少年指導者養成事業を実施しました。

##### <決算額の内訳>

・青少年指導員連絡協議会補助金	883千円
・子ども会連絡協議会補助金	800千円
・母親クラブ連絡協議会	248千円
・青少年指導員報酬	4,187千円
・その他	521千円

#### (6) 図書ボランティア養成講座事業

- ・ボランティアの育成・拡大をしました。
  - ・養成講座やボランティアのつどい（市内活動団体の交流会）を実施しました。
- (実績) 読み聞かせボランティア養成講座（初級編）2回実施・延べ77名参加  
読み聞かせボランティア養成講座（中級編）3回実施・延べ106名参加  
ストーリーテリングボランティア養成講座 4回実施・延べ68名参加  
ボランティアのつどい 1回実施・12団体・26名参加

##### <決算額の内訳>

・講師謝礼	150千円（25千円×6回）
・保育謝礼	9千円（1千円×9人）

#### (7) 読書活動推進事業

- ・各種おはなし会・文学講座などを開催しました。
- (実績) おはなし会 62回実施・1,674名参加  
読書講演会 全3回実施・延べ90名参加  
児童文学講座 全2回実施・延べ38名参加  
一日図書館員 3回実施・42名参加  
大和市子ども読書活動推進会議の設置  
大和市子ども読書活動推進実施計画の策定・実施

##### <決算額の内訳>

・講師謝礼	150千円（30千円×5回）
・保育謝礼	2千円（1千円×2回）
・その他（クリーニング等）	9千円

#### (8) 生涯学習情報提供・学習相談事業（再掲）

- ・庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

##### <学習情報の提供実績>

・サークル・団体情報	3,501件【3,222件】
・事業・講座情報	3,540件【2,026件】
・資格・試験情報	61件【27件】

・ボランティア講師制度情報	441件【150件】
・市民端末利用者数 (生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)	17,820人【26,123人】
・その他	8,332件【5,884件】
<決算額の内訳>	
・社会教育指導員報酬	3,240千円
・その他	321千円

## 教育委員会の自己点検・評価

### ・達成度

特に方針の推進になった点

指導者の活動日数、事業支援を行うボランティア登録者数などは、予定よりも多く概ね達成できています。

未達成の点

未達成の点はありません。

### ・課題

生涯学習を支援する学習相談員、社会教育指導員、社会教育主事、司書等の確保に努めるとともに、ボランティアや職員の資質の向上を図ることが課題です。

また、スタッフの研修では、その効果を上げるためにも、参加者が参考になる研修であったのかというアンケートの分析も含め、研修終了後の検証をしていきます。



## 大項目 1 一人ひとりへの働きかけ



### 中項目 (2) 学習機会の提供

<目標>

- ・全庁的な連携と協力体制を強固なものにし、体系化された学習機会の提供と、市民ニーズに合致した新しい事業の創出に務めます。

## 小項目 1 市民ニーズに応じた学習機会の提供

<方針>

- ・全庁で実施している事業を有機的なつながりをもって提供できるように、重複事業の一元化を図り、効果的な事業を実施していきます。
- ・分野別/難易度別に体系化した学習機会の提供に努めます。
- ・実施時間/曜日/保育付きなど市民の多様なライフスタイルに配慮した、参加しやすい講座を実施します。

### 平成 19 年度の取組み <支えている事務事業>

【】内前年度

#### (1) 講座等開催事業

- ・各学習センター毎に、市民ニーズや社会情勢を捉えながら生涯各期に必要な課題や現代的課題に関する学習機会提供を行いました。

<事業内容>

- ・生涯各期事業 乳幼児家庭教育講座等 77事業【69事業】
- ・現代的課題事業 人権平和事業や男女共同参画事業等 20事業【22事業】
- ・その他事業 音楽会や発表会等 29事業【32事業】
- ・協働事業(渋谷中学校) 18事業【14事業】

<決算額の内訳>

- ・社会教育指導員報酬 3,060千円
- ・講師謝礼ほか 2,352千円
- ・全国公民館総合補償制度保険料 ほか 1,311千円

#### (2) 市民大学事業

- ・人間を知るコースとして「方丈記に学ぶ乱世の生き方」(4回)を、現代を知るコースとして、「セカンドライフの心・技・体」(7回)、「遠くの宇宙と近くの宇宙 ~ 宇宙論から宇宙開発まで~」(5回)を実施しました。

<決算額の内訳>

- ・講師謝礼 480千円
- ・その他 9千円

#### (3) 出前講座「どこでも講座」事業

- ・講習可能な内容をメニュー化し、10名以上の市民により構成された団体の求めに応じて職員を派遣しました。

#### (4) つる舞の里歴史資料館運営事業(再掲)

- ・常設展を開催するほか、企画展を開催しました。
- ・企画展 開催回数 1回【3回】

「寄木細工・伝統工芸への道」

開催期間：平成19年11月22日～12月16日 入場者：741人

- ・また、資料管理、来館者への説明、普及事業などを行い、市民の方々の歴史にたいする理解を深めました。

<決算額の内訳>

- ・企画展示パネル等作成委託料 1,417千円
- ・収蔵資料密閉燻蒸委託料 439千円
- ・その他(消耗品ほか) 1,081千円

#### (5) 青少年育成事業

- ・青少年社会・自然体験推進事業委託(大和ユースクラブ)  
わくわく冒険隊 : 81人 ジュニアシニアクラブ : 70人  
ユースボランティア : 50人

- ・子どもが自由に活動できる場所を提供しました。

<子ども広場>

- ・毎週水曜日の午後と土曜日、夏休み中に体育室を開放しました。

<ユースクラブ>

- ・宿泊研修、野外活動体験等の自主活動を実施しました。

<中高生ボランティア>

- ・夏休み中の子ども広場をボランティア体験の場として実施しました。

<決算額の内訳>

- ・青少年社会・自然体験推進事業委託費 : 850千円
- ・その他 : 255千円

#### (6) 少年洋上体験事業

- ・青少年健全育成基金を原資とし、帆船「あこがれ」をチャーターし、3泊4日のセイルトレーニング(本研修)と、事前・事後研修を実施しました。

<事業内容>

- ・参加数 30人【30人】
- ・本研修 平成19年8月17日(金)～20日(月)(3泊4日)
- ・発着港 清水港から横浜港
- ・事前研修 平成19年8月5日(日)
- ・事後研修 平成19年9月2日(日)

<決算額の内訳>

- ・少年洋上体験事業委託 1,366千円
- ・その他 2千円

#### (7) 青少年健全育成基金管理事務

- ・寄附金の受け入れ及び積立金の管理をしました。

<年間受入件数及び金額>

- ・4件【3件】
- ・4,200千円

#### (8) 図書資料貸出事業(再掲)

- ・利用者が図書館に求める資料を収集しました。未所蔵の資料について、相互貸借システムなどにより提供しました。

蔵書冊数(市内図書施設合計) 390,187冊【388,394冊】

<決算額の内訳>

- ・窓口業務委託 32,465千円(図書館及び4図書室)

・図書購入費	26,059千円
・図書館システム賃借料	11,588千円
・その他	18,507千円

(図書館システム保守委託)

(9) 読書活動推進事業(再掲)

- ・各種おはなし会・文学講座などを開催しました。
- (実績) おはなし会 62回実施・1,674名参加
- 読書講演会 全3回実施・延べ90名参加
- 児童文学講座 全2回実施・延べ38名参加
- 一日図書館員 3回実施・42名参加
- 大和市子ども読書活動推進会議の設置
- 大和市子ども読書活動推進実施計画の策定・実施

<決算額の内訳>

・講師謝礼	150千円(30千円×5回)
・保育謝礼	2千円(1千円×2回)
・その他(クリーニング等)	9千円

(1.0) 視聴覚ライブラリー管理運営事業

- ・視聴覚機材・教材、設備の貸出を実施しました。
- ・16ミリ映写機操作技術認定講習会を実施しました。
- ・ビデオカメラ講習会を実施しました。
- ・デジカメ・ビデオカメラプリント講習会を実施しました。
- ・新しいメディアの操作講習会(デジカメ講習会でDVDの資料作り)を実施しました。

<決算額の内訳>

・視聴覚教材購入費(DVDその他)	144千円
・視聴覚機材修繕費	497千円
・その他	203千円

(1.1) 図書情報提供事業(再掲)

- ・図書館ホームページでの蔵書検索、新着図書情報などを随時開示し、陳腐化しないよう更新頻度を高めました。
- ・インターネットによる予約を行いました。
- ・ブックリスト・図書館報を作成しました。

## 教育委員会の自己点検・評価

### ・達成度

特に方針の推進になった点

市民大学や各種講座、少年洋上体験など、市民ニーズに対応した学習機会の提供は、市民大学の講座回数が予定の16回開催できたことなど、ほとんどの事業で予定どおりできており、市民の学習意欲の向上に寄与することができています。

未達成の点

図書館の事業を積極的に活用する団体は増えてきていますが、反面、学校や児童施設に優先的にリサイクル図書を配布していることもあり、各団体所有の図書が充実してきた結果、団体への貸出数は予定に達しませんでした。

### ・課題

市民大学は参加者が多く、市民の生涯学習にかなった良い事業であると思いますが、今後は市民ニーズに応じ、社会情勢や、現代的課題に関する講座の開催も企画していきます。

また、多様化した市民ニーズに的確に応えていくために、多くの市民からの意見を取り入れるとともに、関係機関との連携、事業をサポートするボランティア等の人的確保を図っていきます。

団体への図書貸出冊数については、さらに団体数を増やし、貸出し冊数増を目指します。

## 大項目 1 一人ひとりへの働きかけ



### 中項目 (2) 学習機会の提供

#### <目標>

- ・全庁的な連携と協力体制を強固なものにし、体系化された学習機会の提供と、市民ニーズに合致した新しい事業の創出に務めます。

## 小項目 2 現代的課題に関する学習機会の提供

#### <方針>

- ・関連計画との整合を図り、庁内で連携した学習機会の提供に努めていきます。
- ・現代的課題を生涯各期の学習機会の中に体系化し、それぞれの年代に応じ学習機会の提供に努めていきます。

### 平成 19 年度の取組み <支えている事務事業>

【】内前年度

#### (1) 講座等開催事業 (再掲)

- ・学習センター毎に、市民ニーズや社会情勢を捉えながら生涯各期に必要な課題や現代的課題に関する学習機会提供を行いました。

#### <事業内容>

- ・生涯各期事業 乳幼児家庭教育講座等 77事業【69事業】
- ・現代的課題事業 人権平和事業や男女共同参画事業等 20事業【22事業】
- ・その他事業 音楽会や発表会等 29事業【32事業】
- ・協働事業 (渋谷中学校) 18事業【14事業】

#### <決算額の内訳>

- ・社会教育指導員報酬 3,060千円
- ・講師謝礼ほか 2,352千円
- ・全国公民館総合補償制度保険料 ほか 1,311千円

#### (2) 市民大学事業 (再掲)

- ・人間を知るコースとして「方丈記に学ぶ乱世の生き方」(4回)を、現代を知るコースとして、「セカンドライフの心・技・体」(7回)、「遠くの宇宙と近くの宇宙 ~ 宇宙論から宇宙開発まで~」(5回)を実施しました。

#### <決算額の内訳>

- ・講師謝礼 480千円
- ・その他 9千円

#### (3) 出前講座「どこでも講座」事業 (再掲)

- ・講習可能な内容をメニュー化し、10名以上の市民により構成された団体の求めに応じて職員を派遣しました。

#### (4) 読書活動推進事業 (再掲)

- ・各種おはなし会・文学講座などを実施しました。
- (実績) おはなし会 62回実施・1,674名参加
- 読書講演会 全3回実施・延べ90名参加

児童文学講座 全2階実施・延べ38名参加  
一日図書館員 3回実施・42名参加  
大和市子ども読書活動推進会議の設置  
大和市子ども読書活動推進実施計画の策定・実施

< 決算額の内訳 >

・講師謝礼	150千円(30千円×5回)
・保育謝礼	2千円(1千円×2回)
・その他(クリーニング等)	9千円

## 教育委員会の自己点検・評価

### ・達成度

特に方針の推進になった点

市民大学等様々な講座を開催し、現代的課題や社会情勢などをテーマに取り上げ、学習センターの開催講座数が予定の120講座に対して144講座開催するなど、達成度は非常に高くなっています。

未達成の点

全ての事業で予定数を上回り、未達成の点はありません。

### ・課題

現代社会の変化はめまぐるしい状況にあるため、常に市民ニーズを把握し、現代的課題や人間とは何かというような不易的な課題など、様々な面からのテーマを取り上げ、講座等を開催していきます。

また、今後は、市民が中心になって講座を企画・運営することが望まれるため、ニーズの把握とともに、市民と行政の役割についても考えていきます。

## 大項目 1 一人ひとりへの働きかけ



### 中項目 (2) 学習機会の提供

<目標>

- ・全庁的な連携と協力体制を強固なものにし、体系化された学習機会の提供と、市民ニーズに合致した新しい事業の創出に務めます。

## 小項目 3 生涯にわたるスポーツと健康維持・増進のための 学習機会の提供

<方針>

- ・地域住民の主体的なスポーツ活動を支援し、定期的・継続的なスポーツ活動の充実を図ります。
- ・生涯スポーツ事業を年代別・難易度別に体系化した行事や教室等の提供に努めます。
- ・スポーツ水準の向上を図るための事業を提供していきます。
- ・心身の健康管理や病気予防等の知識が身につく講座を開催するなど、健康を維持するための学習機会を提供していきます。

### 平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

#### (1) スポーツ大会開催事業

- ・各種スポーツ大会の開催を支援しました。

<開催実績(参加チーム・人数等)>

- ・大和市民総合スポーツ選手権大会(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 2 月 16 日)  
6, 8 2 4 人【6, 8 1 2 人】
- ・大和市駅伝競走大会(平成 20 年 1 月 13 日) 1 0 3 チーム【 8 9 チーム】
- ・スポーツフェスタ(平成 19 年 6 月 3 日) 来場者 9 5 4 人【 8 2 0 人】
- ・大和市民ゴルフ大会(2 回 8 月・3 月) 参加者 2 8 9 人【 3 2 7 人】
- ・大和市民まつりスポーツイベント(5 月 12～13 日)  
参加者 2, 0 0 0 人【 9 8 0 人】

<決算額の内訳>

- ・大和市民総合スポーツ選手権大会委託 2, 9 0 0 千円
- ・大和市駅伝競走大会委託 8 9 7 千円
- ・スポーツフェスタ委託 4 0 0 千円
- ・その他 6 千円

#### (2) スポーツ大会選手派遣事業

- ・各種スポーツ大会に選手を派遣しました。

県総合体育大会・夏季・秋季・冬季、8 市親善野球大会・6 月 1 0・1 7 日  
8 市 2 郡親善陸上競技・7 月 8 日、かながわ駅伝・2 月 1 0 日

<決算額の内訳>

- ・神奈川県総合体育大会 1, 9 5 0 千円

- ・ かながわ駅伝競争大会 179千円
- ・ 8市2郡陸上競技大会 71千円
- ・ 8市親善野球大会 60千円

**(3) スポーツ教室開催事業**

- ・ スポーツ教室の開催を（財）大和市スポーツ・よか・みどり財団に委託しました。

< 事業内容 >

- ・ 開催教室：7種目10教室【5種目8教室】
 

トランポリン教室	2回	フットサル教室	1回
障害者卓球教室	1回	ソフトバレーボール教室	2回
健康体操教室	1回	市民体力づくり歩け歩け運動	1回
夏休み少年サッカー教室	2回		
- ・ 参加人数：286人【204人】

< 決算額の内訳 >

- ・ スポーツ教室委託 4,163千円

**(4) スポーツ活動表彰・奨励事業**

- ・ 全国大会及び国際大会に出場する者に奨励金を支給しました。また、県大会以上の大会での上位入賞者を表彰しました。

< 決算額の内訳 >

- ・ 報償費 278千円

**(5) 学校施設スポーツ開放事業**

- ・ スポーツ及びレクリエーション活動の場として市内小中学校の校庭・体育館・武道場・プールを開放しました。

- ・ 校庭開放
 

利用件数	3,708件	3,603件【
利用人数	209,764人	200,090人】
- ・ 体育館開放
 

利用件数	10,893件	【 11,034件】
利用人数	229,291人	【233,707人】
- ・ プール開放
 

開放校	18校	【 18校】
利用人数	11,595人	【 9,078人】
開放期間	7月22日～8月19日	

< 決算額の内訳 >

- ・ 学校開放事業管理運営業務委託 13,359千円
- ・ 学校プール開放管理業務委託 9,345千円
- ・ 施設開放賠償責任保険等 3,305千円

**(6) スポーツ指導者育成事業（再掲）**

- ・ 大和市体育指導員連絡協議会に対して補助金を交付します。
- ・ 他市交流研修会を実施しました。（伊勢原市・寒川町・大和市64名参加）
- ・ 神奈川県体育指導委員連合会研修会へ派遣しました。（3回 延べ69名参加）
- ・ 関東体育指導委員研究大会へ派遣しました。（山梨県 14名参加）
- ・ 全国体育指導研究協議会へ派遣しました。（新潟県 14名参加）

< 決算額の内訳 >

- ・ 非常勤特別職員報酬 6,173千円
- ・ その他 647千円

**(7) 読書活動推進事業（再掲）**

- ・ 各種おはなし会・文学講座などを実施しました。



(実績) おはなし会 62回実施・1,674名参加  
 読書講演会 全3回実施・延べ90名参加  
 児童文学講座 全2回実施・延べ38名参加  
 一日図書館員 3回実施・42名参加  
 大和市子ども読書活動推進会議の設置  
 大和市子ども読書活動推進実施計画の策定・実施

< 決算額の内訳 >

・講師謝礼	150千円(30千円×5回)
・保育謝礼	2千円(1千円×2回)
・その他(クリーニング等)	9千円

## 教育委員会の自己点検・評価

・達成度

特に方針の推進になった点

市民のスポーツの振興を図るスポーツ大会やスポーツ教室などを予定どおり開催することができました。また、学校施設のスポーツ開放においても、登録団体が予定数500に対して512団体と予定数を超えていることから、達成度は高くなっています。

未達成の点

スポーツ大会等の奨励金の申請については、前年度が多かったため、予定数を増やしましたが、平成19年度は平年並みでした。

・課題

スポーツ大会や教室などは参加者も多く、学習機会の提供はできていると思いますが、さらに、事業終了後のアンケート等で参加者の意見を聴き、大会や教室の質の向上に努めます。

多くの市民がスポーツに興味を持ち、スポーツを行うことにより、健康の増進にも繋がることから、今後も、幅広い年齢層の市民が参加しやすい大会・教室等を実施していきます。

## 大項目 1 一人ひとりへの働きかけ



### 中項目 (2) 学習機会の提供

<目標>

- ・全庁的な連携と協力体制を強固なものにし、体系化された学習機会の提供と、市民ニーズに合致した新しい事業の創出に務めます。

## 小項目 4 芸術・文化に関する学習機会の提供

<方針>

- ・芸術・文化活動への市民の関わりを深め、広げていきます。
- ・地域文化創造の基盤となる文化遺産の継承と周知を図っていきます。

### 平成 19 年度の取組み<支えている事務事業>

【】内前年度

#### (1) 文化芸術振興事業

- ・次のとおり事業を開催しました。

・軽音楽コンサート	平成 19 年	6 月 29 日
・やまと寄席	平成 19 年	9 月 14 日
・コミュニティ音楽館	平成 19 年	9 月 29 日 ~ 平成 20 年 2 月 23 日
・第 3 回大和文芸映画祭	平成 19 年	10 月 27 日
・文化祭	平成 19 年	10 月 27 日 ~ 平成 19 年 11 月 3 日
・さくら文芸祭	平成 20 年	3 月 7 日 ~ 平成 20 年 3 月 12 日

<決算額の内訳>

・学習センターホール事業	14,491 千円
・文化祭・さくら文芸祭	1,406 千円
・コミュニティ音楽館	120 千円
・その他	63 千円

#### (2) 文化団体支援事業

- ・補助金の交付及び活動を支援しました。

<決算額の内訳>

・市文化連盟補助金・市合唱連盟補助金	670 千円
--------------------	--------

#### (3) 文化振興基金管理事務

- ・基金の管理を行いました。

<決算額の内訳>

・利子	765 千円
-----	--------

#### (4) 音楽・演劇フェスティバル開催事業

- ・音楽フェスティバルは、吹奏楽の部と合唱の部ごとに独立したイベントとして、それぞれ参加団体による実行委員会に委託して実施しました。演劇フェスティバルは、幼年期から少年期までの情操教育の意義も兼ねた「子ども演劇フェスティバル」として、参加団体による実行委員会に委託し実施しました。

- ・子ども演劇フェスティバルの開催：1 回

- ・音楽フェスティバルの開催 : 2回

< 決算額の内訳 >

- ・子ども演劇フェスティバル委託料 50千円
- ・音楽フェスティバル委託料 260千円

#### (5) 生涯学習センター地域文化振興事業

- ・参加団体が組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、10月13日(土)・14日(日)の2日間、生涯学習センターを会場に、サークル等の合同発表会(展示・発表・実演・上映会)として「生涯学習センターまつり」を開催しました。

< 決算額の内訳 >

- ・業務委託料 70千円

#### (6) 林間学習センター地域文化振興事業

- ・参加団体が組織した実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に準備・運営に携わる事業として、林間学習センターで体験学習を中心とした「夏休みちびっこパラダイス」を7月26日(木)から28日(土)までの3日間、利用サークルの合同発表会「林間学習センターまつり りんぶん祭」を10月21日(土)22日(日)の2日間、市内アマチュア劇団の発表会である「りんぶん村の芝居小屋」を20年3月16日(日)に開催しました。

< 参加者数 >

- ・夏休みちびっこパラダイス.....参加11団体、参加者699人
- ・林間学習センターまつり りんぶん祭.....参加38団体、来館者1,559人
- ・りんぶん村の芝居小屋.....参加6劇団、来場者113人、出演者27人

< 決算額の内訳 >

- ・業務委託料 180千円

#### (7) 渋谷学習センター地域文化振興事業

- ・参加団体が組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、3月2日(日)に、渋谷学習センターで「渋谷素人演芸大会」を、10月20日(土)に、「渋谷学習センターまつり」を開催しました。

< 決算額の内訳 >

- ・業務委託料 105千円

#### (8) つきみ野学習センター地域文化振興事業

- ・参加団体が組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、11月10日(土)11日(日)に、つきみ野学習センターを会場に、サークル等の合同発表会として「つきみ野学習センターまつり」を開催しました。

< 決算額の内訳 >

- ・業務委託料 70千円

#### (9) 桜丘学習センター地域文化振興事業

- ・参加団体が組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、11月3日、4日、10日の3日間、桜丘学習センターを会場に、サークル等の合同発表会(展示・発表・催し物など)として「桜丘学習センターまつり」を開催しました。

< 決算額の内訳 >

- ・業務委託料 70千円

#### (10) 文化財保護管理事務

- ・神奈川県教育委員会との連絡調整、文化財調査車両の維持管理、文化財調査報告書等の販売及び手数料の管理を行いました。

< 決算額の内訳 >

・埋蔵文化財調査用車両車検代	1 2 5 千円
・埋蔵文化財調査用車両燃料費	1 2 千円
・その他（自動車重量税ほか）	1 0 4 千円

(1.1) 埋蔵文化財保護事業

- ・埋蔵文化財包蔵地等の開発行為を行う個人・事業者の照会を行いました。  
( 1 , 5 7 1 件 ) 【 1 , 4 2 7 件 】
- ・埋蔵文化財包蔵地等の開発行為を行う個人・事業者との協議を行いました。  
( 1 3 6 件 ) 【 1 2 2 件 】
- ・埋蔵文化財の発掘調査を行いました。( 1 3 1 件 ) 【 1 1 9 件 】

< 決算額の内訳 >

・埋蔵文化財発掘調査補助業務委託	4 , 2 4 3 千円
・埋蔵文化財保管遺物整理業務委託	5 0 0 千円
・その他（賃金ほか）	8 3 1 千円

(1.2) 民俗文化財保護事業

- ・民具の収集・調査、実測・整理を行いました。  
寄贈希望による結婚式道具・書籍・民具等40点を収集しました。  
調査カードを作成し、記録保存しました。
- ・民間信仰調査を行いました。  
市内を5地域に分けて、本調査を行いました。
- ・「やまと昔語り」刊行に向けての聞き取りを行いました。  
衣生活をテーマに、衣類の種類などを中心に聞き取り調査を行いました。

< 決算額の内訳 >

・民具資料の整理保存調査補助員賃金	5 3 6 千円
・民俗文化財調査委託	4 9 2 千円
・その他	9 5 千円

(1.3) 史跡・天然記念物保護事業

- ・植物標本・昆虫標本の保存管理、市指定天然記念物（樹木）の巡視、樹木診断を行いました。また市指定天然記念物は損害賠償責任保険に加入し、貴重な文化財の全管理に努めました。

< 決算額の内訳 >

・大和市指定天然記念樹木診断委託	2 0 8 千円
・その他	1 9 千円

(1.4) 文化財普及啓発事業

- ・文化財愛護講座を開催しました。(年1回)【年1回】  
テーマ「寄木細工の魅力」
- ・文化財防火デー事業(年1回)として、消防訓練を実施しました。【年1回】  
平成20年2月25日 郷土民家園にて実施
- ・絵本原画作成の準備を行いました。  
義経伝説を素材とした絵本の原画を作成しました。

その他、文化財案内板維持管理、文化財見学者受入、文化財案内事業、所蔵資料貸出・掲載許可、出前博物館事業、博物館実習生受入を行いました。

< 決算額の内訳 >

- ・絵本原画作成委託 299千円
- ・文化財説明板補修費 99千円
- ・その他 60千円

**(15) 指定文化財保護支援事業**

- ・県指定天然記念物「大和のシラカシ林」及び市指定重要文化財へ補助金を交付しました。
- ・県指定天然記念物「大和のシラカシ林」へ補助金を交付しました。  
(交付件数 3件) 【交付件数 3件】
- ・市指定重要文化財へ補助金を交付しました。  
(交付件数 25件) 【交付件数 25件】

< 決算額の内訳 >

- ・県指定文化財大和のシラカシ林保存管理補助金、大和市指定文化財保存修理等補助金ほか 486千円 【487】

**(16) 郷土民家園管理運営事業**

- ・指定管理者による管理運営を行いました。  
指定管理者(財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団)  
年間入園総数 29,743人【年間入園者数 32,662人】

< 決算額の内訳 >

- ・郷土民家園指定管理委託 8,357千円
- ・その他 71千円

**(17) つる舞の里歴史資料館維持管理事務**

- ・適宜修繕等を行い、施設を良好に維持するため管理に努めました。

< 決算額の内訳 >

- ・施設管理・保守等委託料 1,917千円
- ・収蔵品管理・映像展示システム賃貸借料 1,323千円
- ・施設維持管理用光熱水費 1,252千円
- ・その他 877千円

**(18) つる舞の里歴史資料館運営事業(再掲)**

- ・常設展を開催するほか、企画展を開催しました。  
企画展 開催回数1回【3回】  
「寄木細工・伝統工芸への道」  
開催期間：平成19年11月22日～12月16日 入場者：741人  
また、資料管理、来館者への説明、普及事業などを行い、市民の方々の歴史に対する理解を深めました。

< 決算額の内訳 >

- ・企画展示パネル等作成委託料 1,417千円
- ・収蔵資料密閉燻蒸委託料 439千円
- ・その他(消耗品ほか) 1,081千円

**(19) 有形文化財保護事業**

- ・歴史資料調査を継続して実施しました。  
保田家資料の調査
- ・市内古民家等の情報収集を行いました。

< 決算額の内訳 >

- ・歴史資料調査委託 355千円
- ・その他 24千円

#### (2.0) 無形文化財保護事業

- ・市内に残る念仏講や題目講を撮影し、記録保存を図りました。
- ・文化財映像記録製作を行いました。
- ・市内に残る題目講(2ヶ所)、念仏講(1ヶ所)について、記録撮影を行いました。

##### < 決算額の内訳 >

- ・文化財映像記録製作業務委託 840千円
- ・その他 47千円

#### (2.1) 文化財保管施設維持管理事業

- ・文化財保管施設の維持管理を行いました。

##### < 決算額の内訳 >

- ・施設維持管理用光熱水費 395千円
- ・施設管理・保守等委託料 333千円
- ・その他 298千円

#### (2.2) 下鶴間ふるさと館維持管理事業

指定管理者による管理・運営を行いました。

- ・入館者数 6,883人 【11,029人】

##### < 決算額の内訳 >

- ・下鶴間ふるさと館指定管理委託 11,871千円
- ・施設案内リーフレット印刷 94千円
- ・その他 69千円

#### (2.3) 郷土民家園施設整備事業

- ・市指定重要文化財「旧北島家住宅」(郷土民家園内)の傷んでいる屋根の葺き替え等工事を行いました。
- ・傷んでいる屋根材(茅)のみを新しい茅と差し替える、差し茅工法を用いて修繕を行いました。

##### < 決算額の内訳 >

- ・旧北島家屋根葺き替え等工事 13,577千円

## 教育委員会の自己点検・評価

### ・達成度

特に方針の推進になった点

市文化祭の開催や各学習センター事業などにおいて、身近に芸術文化に親しんでもらい、質の高い芸術作品や芸能を提供するために、文化団体の支援や会館事業を実施しました。

また、文化財の保護や理解を深めるための講座等を実施し、文化遺産の継承と周知を図ることができました。

未達成の点

生涯学習センター、桜丘学習センター、渋谷学習センターでは、施設修繕や活動団体の高齢化等により、地域文化振興事業の参加団体が予定数を下回っており地域文化を自らの手で振興していくために、センター利用団体への更なる働きかけが必要です。

### ・課題

現在は、グローバル化と同時に、ローカルなもの大切さが再認識される時代となっています。そのためにも身近な所で文化芸術に触れることができるような体制づくりが求められています。

特に、子ども達が、文化財を見る機会が少ないと思われるので、展示方法などを見直し、文化芸術に親しめるような工夫が大切です。

したがって、文化財については、保存だけでなく、常設の展示場の確保や、専門的説明書の平易化などを図り、子どもをはじめとした市民に親しんで、理解してもらえるような方法を検討していきます。

## 大項目 1 一人ひとりへの働きかけ



### 中項目 (3) ボランティア機会の提供

#### <目標>

- ・一人ひとりが学習を深め、自らを高めることができるよう、学習成果の社会還元機会として、ボランティア活動を普及し活性化していきます。

## 小項目 1 ボランティア登録窓口の一元化と認知度の向上・普及

#### <方針>

- ・市民活動センター、社会福祉協議会やまとボランティアセンターなど、ボランティア窓口機関や関係課が一体となって、一人ひとりの市民の視点に立ったわかりやすく信頼感の持てる総合的なボランティア窓口を設置します。
- ・ボランティア窓口の機能・人員・業務内容を充実させ、窓口やボランティア活動の存在について一般への認知度を向上させ、普及・浸透させていきます。

#### 平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

##### (1) 生涯学習情報提供・学習相談事業 (再掲)

- ・庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

#### < 学習情報の提供実績 >

・サークル・団体情報	3,501件	【3,222件】
・事業・講座情報	3,540件	【2,026件】
・資格・試験情報	61件	【27件】
・ボランティア講師制度情報	441件	【150件】
・市民端末利用者数 (生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)	17,820人	【26,123人】
・その他	8,332件	【5,884件】

#### < 決算額の内訳 >

・社会教育指導員報酬	3,240千円
・その他	321千円



## 教育委員会の自己点検・評価

### ・達成度

特に方針の推進になった点

生涯学習に関わるボランティアの登録については、生涯学習センターで随時受け付けしており、授業、部活、PTA 活動、課外活動などをサポートしていただいておりますが、現在登録者も200名となっていることから、ボランティア活動の存在は、認知されていると考えます。

また、ボランティア講師制度の情報提供についても、予定数150件の3倍の441件あり、大いに活用されています。

未達成の点

未達成の点はありません。

### ・課題

ボランティア講師を活用していくうえでは、生涯学習と学校教育の連携が必要であり、そのためには、ボランティアとの情報交換の場を設けることが必要です。

今後も、ボランティア活動の存在や制度を引き続き周知するとともに、人材の確保に努めます。

## 大項目 1 一人ひとりへの働きかけ



### 中項目 (3) ボランティア機会の提供

#### <目標>

- 一人ひとりが学習を深め、自らを高めることができるよう、学習成果の社会還元機会として、ボランティア活動を普及し活性化していきます。

## 小項目 2 ボランティア活動の拡大に向けた循環の構築

#### <方針>

- ボランティア登録等の総合窓口を中心に、紹介・実践を持続的に行い、ボランティア市民層の発掘・拡大、研修（受け入れ先機関等との連携企画）、評価（顕彰促進、成果の社会へのPRなど）を行い、活動がより多くの市民の目に触れ、より多くの市民の充実した参加が得られるようにします。
- より多くのボランティア活動メニューを提示し、市民一人ひとりのニーズに応えられるよう、庁内各課・施設・関係機関・団体等へのボランティアの受入について働きかけ、新たなボランティア活動を創出していきます。
- 学習センターを中心に、地区に根ざした活動についてボランティア市民層の発掘、身近で気軽な実践機会の提供、ステップアップに向けた情報提供を行います。

#### 平成 19 年度の取組み<支えている事務事業>

【】内前年度

##### (1) 生涯学習情報提供・学習相談事業（再掲）

- 庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

#### <学習情報の提供実績>

- サークル・団体情報 3,501件【3,222件】
- 事業・講座情報 3,540件【2,026件】
- 資格・試験情報 61件【27件】
- ボランティア講師制度情報 441件【150件】
- 市民端末利用者数 17,820人【26,123人】  
(生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)
- その他 8,332件【5,884件】

#### <決算額の内訳>

- 社会教育指導員報酬 3,240千円
- その他 321千円

## 教育委員会の自己点検・評価

### ・達成度

特に方針の推進になった点

登録されたボランティアの活動の場の拡大を図るため、ボランティア活動メニューを提示するとともに、関係機関と情報交換等を行っています。生涯学習センターでは、「やまと生涯学習ボランティア講師の会」が自主的に活動しており、制度の情報提供も頻繁に行ったことから、達成度は高いものと考えます。

未達成の点

未達成の点はありません。

### ・課題

ボランティア活動の拡大では、情報を積極的に PR し、ボランティア市民層の発掘・拡大を行い、より多くの市民が参加できるように努めていきます。

また、民間カルチャーとの協力や棲み分けについては、今後の課題です。

## 大項目 2 グループ活動への支援



### 中項目 (1) 全市的・広域的なテーマ別活動の支援

#### <目標>

- ・各課等で実施しているグループ活動支援に関わる既存事業を整理して「生涯学習・人材育成と地域活動・市民活動の循環」の視点から支援のあり方を見直します。
- ・市内での役割分担や整合性を図り、テーマ別グループ活動への支援を体系化・システム化します。

## 小項目 1 情報収集・蓄積提供

#### <方針>

- ・全市的・広域的なテーマ別活動の情報収集・蓄積・提供を行う市民活動センターへ市内各課等が情報を提供するなど、積極的な連携・協力を図ります。

#### 平成 19 年度の取組み<支えている事務事業>

【】内前年度

#### (1) 生涯学習情報提供・学習相談事業(再掲)

- ・市内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

#### <学習情報の提供実績>

- ・サークル・団体情報 3,501件【3,222件】
- ・事業・講座情報 3,540件【2,026件】
- ・資格・試験情報 61件【27件】
- ・ボランティア講師制度情報 441件【150件】
- ・市民端末利用者数 17,820人【26,123人】  
(生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)
- ・その他 8,332件【5,884件】

#### <決算額の内訳>

- ・社会教育指導員報酬 3,240千円
- ・その他 321千円

## 教育委員会の自己点検・評価

- ・達成度

- 特に方針の推進になった点

- 様々な活動を行っているグループへの支援として、市民活動センターへの情報提供を行うとともに、生涯学習情報誌「生涯学習がいどぶっく」を市内の223箇所の閲覧施設窓口で配布するなど、情報提供等に関しては概ね達成できています。

- 未達成の点

- 未達成の点はありません。

- ・課題

- 生涯学習に関する情報の提供について、市民活動センターとさらに連携・協力していきます。

## 大項目 2 グループ活動への支援



### 中項目 (1) 全市的・広域的なテーマ別活動の支援

#### <目標>

- ・各課等で実施しているグループ活動支援に関わる既存事業を整理して「生涯学習・人材育成と地域活動・市民活動の循環」の視点から支援のあり方を見直します。
- ・市内での役割分担や整合性を図り、テーマ別グループ活動への支援を体系化・システム化します。

### 小項目 2 初動期・発展期等のグループ活動への支援

### 小項目 3 持続的な支援

#### <方針>

- ・市民活動推進事業の中で、テーマ別の初動期・発展期のグループ活動への支援を行います。
- ・学習センターの学習交流支援システム（市民が企画する講座など、広く一般へ働きかける事業への支援システム）の普及・活動促進を図ります。
- ・重要度の高い分野については、下記 の項目も目指しつつ、市内各課機関等が直接または間接的に持続的なグループ活動支援を行っていきます。

#### 平成 19 年度の取組み<支えている事務事業>

【】内前年度

##### (1) 生涯学習振興基金管理事務

積立金の管理を行いました。

- ・寄附件数 2 件 【0 件】

#### <決算の内訳>

- ・寄附金 270 千円
- ・利子 100 千円

##### (2) 社会教育啓発事業（再掲）

家庭教育関係冊子の配布や人権啓発のためのビデオフィルムの貸出を行いました。

#### <決算額の内訳>

- ・人権・同和教育啓発用ビデオ 76 千円
- ・その他（参考図書等） 67 千円

##### (3) 文化芸術振興事業（再掲）

次のとおり事業を開催しました。

- ・軽音楽コンサート 平成 19 年 6 月 29 日
- ・やまと寄席 平成 19 年 9 月 14 日
- ・コミュニティ音楽館 平成 19 年 9 月 29 日～平成 20 年 2 月 23 日
- ・第 3 回大和文芸映画祭 平成 19 年 10 月 27 日
- ・文化祭 平成 19 年 10 月 27 日～平成 19 年 11 月 3 日

・さくら文芸祭 平成20年 3月 7日～平成20年 3月12日

<決算額の内訳>

・学習センターホール事業	14,491千円
・文化祭・さくら文芸祭	1,406千円
・コミュニティ音楽館	120千円
・その他	63千円

#### (4) 生涯学習振興基金活用支援事業

大和地区日本中国友好協会による創立15周年記念事業「東京中国歌舞団大和公演」に対し、生涯学習振興補助金を交付しました。

<事業内容>

・事業実施日	平成19年11月18日
・公演内容	東京中国歌舞団大和公演 vol.6 新シルクロードの音楽の旅
・会場	大和市保健福祉センターホール
・入場者数	約400人

<基金残高>	平成18年度末現在高	23,030,087円
	平成19年度中増減	230,515円
	平成19年度末現在高	22,799,572円

<決算額の内訳>

・生涯学習振興補助金 600千円

#### (5) PTA 連絡協議会支援事業

PTA 活動の支援及び補助金を交付しました。

<決算額の内訳>

・市PTA連絡協議会補助金	168千円
・その他	30千円

#### (6) 文化団体支援事業(再掲)

補助金の交付及び活動を支援しました。

<決算額の内訳>

・市文化連盟補助金・市合唱連盟補助金 670千円

#### (7) スポーツ関係団体支援事業

次の団体に対して補助金を交付しました。

<決算額の内訳>

・地区体育振興会(11地区)補助金	2,420千円
・体育協会	1,600千円
・スポーツ少年団	76千円
・レクリエーション協会	30千円
・軽スポーツ協会	15千円

#### (8) 音楽・演劇フェスティバル開催事業(再掲)

音楽フェスティバルは、吹奏楽の部と合唱の部ごとに独立したイベントとして、それぞれ参加団体による実行委員会に委託して実施しました。演劇フェスティバルは、幼年期から少年期までの情操教育の意義も兼ねた「子ども演劇フェスティバル」として、参加団体による実行委員会に委託し実施しました。

・子ども演劇フェスティバルの開催	: 1回
・音楽フェスティバルの開催	: 2回

<決算額の内訳>

・子ども演劇フェスティバル委託料 50千円

・音楽フェスティバル委託料 260千円

#### (9) 生涯学習センター地域文化振興事業(再掲)

参加団体に組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、10月13日(土)・14日(日)の2日間、生涯学習センターを会場に、サークル等の合同発表会(展示・発表・実演・上映会)として「生涯学習センターまつり」を開催しました。

<決算額の内訳>

・業務委託料 70千円

#### (10) 林間学習センター地域文化振興事業(再掲)

参加団体に組織した実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に準備・運営に携わる事業として、林間学習センターで体験学習を中心とした「夏休みちびっこパラダイス」を7月26日(木)から28日(土)までの3日間、利用サークルの合同発表会「林間学習センターまつり りんぶん祭」を10月21日(土)22日(日)の2日間、市内アマチュア劇団の発表会である「りんぶん村の芝居小屋」を20年3月16日(日)に開催しました。

<参加者数>

- ・夏休みちびっこパラダイス.....参加11団体、参加者699人
- ・林間学習センターまつり りんぶん祭.....参加38団体、来館者1,559人
- ・りんぶん村の芝居小屋.....参加6劇団、来場者113人、出演者27人

<決算額の内訳>

・業務委託料 180千円

#### (11) 渋谷学習センター地域文化振興事業(再掲)

参加団体に組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、3月2日(日)に、渋谷学習センターで「渋谷素人演芸大会」を、10月20日(土)に、「渋谷学習センターまつり」を開催しました。

<決算額の内訳>

・業務委託料 105千円

#### (12) つきみ野学習センター地域文化振興事業(再掲)

参加団体に組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、11月10日(土)、11日(日)に、つきみ野学習センターを会場に、サークル等の合同発表会として「つきみ野学習センターまつり」を開催しました。

<決算額の内訳>

・業務委託料 70千円

#### (13) 桜丘学習センター地域文化振興事業(再掲)

参加団体に組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、11月3日、4日、10日の3日間、桜丘学習センターを会場に、サークル等の合同発表会(展示・発表・催し物など)として「桜丘学習センターまつり」を開催しました。

<決算額の内訳>

・業務委託料 70千円

#### (14) やまと成人式開催事業

新成人等で組織する実行委員会に2008やまと成人式の企画・運営・実施を委託しました。

<概要>



- ・日程：平成20年1月14日
- ・場所：大和スポーツセンター
- ・案内状・チケット等の印刷物のデザイン
- ・式典及び司会進行
- ・アトラクション
- ・託児室の設置等

<参加者> 1,501名(71.9%)【1,493名(71.4%)】

<決算額の内訳>

- ・委託費 6,000千円

(15) 青少年指導者育成支援事業(再掲)

青少年健全育成団体への支援、青少年センターまつりの開催、青少年指導者養成事業を実施しました。

<決算額の内訳>

- ・青少年指導員連絡協議会補助金： 883千円
- ・子ども会連絡協議会補助金： 800千円
- ・母親クラブ連絡協議会： 248千円
- ・青少年指導員報酬： 4,187千円
- ・その他： 521千円

## 教育委員会の自己点検・評価

### ・達成度

特に方針の推進になった点

初動期、発展期のグループ活動については、学習交流支援システムを利用した支援などを通し、継続的に行っていくことが必要ですが、学習センター各館の事業への参加数の減などにより、達成度は中程度となっています。

未達成の点

各学習センターの地域文化振興事業における参加団体数は、団体会員に高齢化や修繕工事等の影響もあり、予定数を下回っています。

### ・課題

団体数が増えないのは、団体構成員の高齢化や会員の固定化などが原因と考えられますが、これからの生涯学習を推進していくためには、どのような事業が成長し、どのような事業が求められるのかを見極めていくことが課題です。

今後は、グループ活動に対する支援や地域学習交流支援システムを運用することにより、地域文化を市民自らの手で振興していこうという意識をさらに高めることができるよう、継続的に働きかけていきます。

## 大項目 2 グループ活動への支援



### 中項目 (1) 全市的・広域的なテーマ別活動の支援

#### <目標>

- ・各課等で実施しているグループ活動支援に関わる既存事業を整理して「生涯学習・人材育成と地域活動・市民活動の循環」の視点から支援のあり方を見直します。
- ・市内での役割分担や整合性を図り、テーマ別グループ活動への支援を体系化・システム化します。

## 小項目 4 担い手の発掘・育成・主体創出

#### <方針>

- ・市内各課・機関等は、重要度の高い分野で協働可能な領域について、必要な事業・活動の理解者・協力者となる市民を発掘・育成し、組織化を支援するなどして、その事業・活動を担う主体を創出していきます。

### 平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

#### (1) 市立小中学校特別教室の開放事業

- ・生涯学習の活動の場として、市内の小中学校の特別教室を開放しました。

##### < 特別教室の開放の実績 >

- ・引地台中学校特別教室利用者の状況

利用回数	85回	利用者数	871人
------	-----	------	------

- ・中央林間小学校特別教室利用者の状況

利用回数	40回	利用者数	488人
------	-----	------	------

- ・渋谷小学校特別教室利用者の状況

利用回数	189回	利用者数	2,662人
------	------	------	--------

- ・渋谷中学校特別教室利用者の状況

特別教室・1階総合学習スペース（愛称；下和田の郷）開放は「渋谷中学校学校開放管理運営委員会」、市民団体「渋谷きんりん未来の会」、及び大和市との三者の協働事業として行いました。

利用回数	1,195回	利用者数	22,337人
------	--------	------	---------

##### < 決算額の内訳 >

- ・負担金 6,859千円
- ・委託料 864千円

#### (2) 青少年健全育成都市宣言推進事業

青少年の育成活動について幅広く市民に啓発を図り、市民総ぐるみの運動として青少年育成大会を開催しました。

##### < 青少年健全育成大会の主な内容 >

- ・表彰式 被表彰者17人 2団体
- ・作文発表 応募の内訳 小学校20校、中学校9校、高校1校 1,445人

作文集掲載者30人 作文朗読者3人(小・中・高 各1人)

・活動発表 県立大和高校軽音楽部演奏、リトルスターズ バトントワーリング  
<決算額の内訳>

・表彰記念品・謝礼	219千円
・その他	285千円

## 教育委員会の自己点検・評価

### ・達成度

特に方針の推進になった点

生涯学習で実施する様々な事業は市単独で実施、市民と協働で実施、市民が主体的に実施するなど手法は違いますが、事業を実施する担い手は、重要な役割となります。「渋谷きんりん未来の会」では、渋谷中学校開放管理運営委員会と協働で学校開放を行っており、事業の理解・協力者として、教室事業数が予定の120であったものが、146の実績となるなど大きな成果をあげています。

未達成の点

未達成の点はありません。

### ・課題

生涯学習を推進するためには、事業実施の担い手の育成が必要であり、そのために各々のグループ等の特徴を把握し、事業への参加者増につながる支援を行います。

また、今後も、生涯学習や地域活動、市民活動に関わる団体や機関との連携を強化し、行政、市民が一体となった取り組みを進めていきます。

## 大項目 2 グループ活動への支援



### 中項目 (1) 全市的・広域的なテーマ別活動の支援

#### <目標>

- ・各課等で実施しているグループ活動支援に関わる既存事業を整理して「生涯学習・人材育成と地域活動・市民活動の循環」の視点から支援のあり方を見直します。
- ・市内での役割分担や整合性を図り、テーマ別グループ活動への支援を体系化・システム化します。

## 小項目 5 一般化・汎用化と地区単位活動への普及推進

#### <方針>

- ・市内各課・機関等は、全市的・広域的なテーマ別活動やパイロット的活動が一定の成果をあげた場合の次のステップとして、その活動をより一般化
- ・汎用化して、市民自治区等へその使命を委ねるなど、地区単位活動へ普及・浸透させていきます。

### 平成 19 年度の取組み <支えている事務事業 >

【】内前年度

#### (1) 生涯学習情報提供・学習相談事業(再掲)

- ・市内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

#### <学習情報の提供実績>

- |                                   |         |           |
|-----------------------------------|---------|-----------|
| ・サークル・団体情報                        | 3,501件  | 【3,222件】  |
| ・事業・講座情報                          | 3,540件  | 【2,026件】  |
| ・資格・試験情報                          | 61件     | 【27件】     |
| ・ボランティア講師制度情報                     | 441件    | 【150件】    |
| ・市民端末利用者数<br>(生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口) | 17,820人 | 【26,123人】 |
| ・その他                              | 8,332件  | 【5,884件】  |

#### <決算額の内訳>

- |            |         |
|------------|---------|
| ・社会教育指導員報酬 | 3,240千円 |
| ・その他       | 321千円   |

## 教育委員会の自己点検・評価

### ・達成度

特に方針の推進になった点

全市または広域的に行われたテーマ別の活動や、先駆的な取り組みが一定の成果を上げた場合には、次の段階として、その活動を市内の各地区活動へと普及させていくことが大切です。

活動の活性化の一翼を担うボランティア活動が積極的に行われていることからほぼ達成されているものと考えます。

未達成の点

未達成の点はありません。

### ・課題

地域において、市民が新たな取り組みをすることができるようアドバイスできる仕組みづくりを目指します。

## 大項目 2 グループ活動への支援



### 中項目 (2) 地区単位活動への支援

<目標>

- ・広域的・全市的なテーマ別グループ活動への支援とは異なり、テーマ別活動の所管課等の持つ資源を効果的に引き出すなど、より地区の実情に配慮した対応を行うため、連携・協力などのコーディネート機能に重点を置いた支援を目指します。

## 小項目 1 情報収集・蓄積・提供

<方針>

- ・現在、情報コーナー管理や学習相談など主に社会教育主事・社会教育指導員が実施している各学習センターの機能・体制を強化し、より積極的に身近な地区単位活動の情報収集・蓄積・提供を行います。

### 平成 19 年度 of 取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

#### (1) 生涯学習センター地域文化振興事業 (再掲)

参加団体に組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、10月13日(土)・14日(日)の2日間、生涯学習センターを会場に、サークル等の合同発表会(展示・発表・実演・上映会)として「生涯学習センターまつり」を開催しました。

<決算額の内訳>

- ・業務委託料 70千円

#### (2) 林間センター地域文化振興事業 (再掲)

参加団体に組織した実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に準備・運営に携わる事業として、林間学習センターで体験学習を中心とした「夏休みちびっこパラダイス」を7月26日(木)から28日(土)までの3日間、利用サークルの合同発表会「林間学習センターまつり りんぶん祭」を10月21日(土)22日(日)の2日間、市内アマチュア劇団の発表会である「りんぶん村の芝居小屋」を20年3月16日(日)に開催しました。

<参加者数>

- ・夏休みちびっこパラダイス.....参加11団体、参加者699人
- ・林間学習センターまつり りんぶん祭.....参加38団体、来館者1,559人
- ・りんぶん村の芝居小屋.....参加6劇団、来場者113人、出演者27人

<決算額の内訳>

- ・業務委託料 180千円

#### (3) 渋谷学習センター地域文化振興事業 (再掲)

参加団体に組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、3月2日(日)に、渋谷学習センターで「渋谷素人演芸大会」を、10月20日(土)に、「渋谷学習センターまつり」を開催しました。

<決算額の内訳>

・業務委託料 105千円

(4) つきみ野学習センター地域文化振興事業(再掲)

参加団体で組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、11月10日(土)、11日(日)に、つきみ野学習センターを会場に、サークル等の合同発表会として「つきみ野学習センターまつり」を開催しました。

<決算額の内訳>

・業務委託料 70千円

(5) 桜丘学習センター地域文化振興事業(再掲)

参加団体で組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、11月3日、4日、10日の3日間、桜丘学習センターを会場に、サークル等の合同発表会(展示・発表・催し物など)として「桜丘学習センターまつり」を開催しました。

<決算額の内訳>

・業務委託料 70千円

(6) 生涯学習情報提供・学習相談事業(再掲)

庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

<学習情報の提供実績>

・サークル・団体情報	3,501件【3,222件】
・事業・講座情報	3,540件【2,026件】
・資格・試験情報	61件【27件】
・ボランティア講師制度情報	441件【150件】
・市民端末利用者数 (生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)	17,820人【26,123人】
・その他	8,332件【5,884件】

<決算額の内訳>

・社会教育指導員報酬 3,240千円

・その他 321千円

(7) 社会教育関係団体登録・育成事業(再掲)

社会教育関係団体登録の継続認定のための届出書を提出する際に、望まれる団体活動についての助言を行いました。新規認定の際は、社会教育関係団体に求められる使命を十分説明し、その適格性を確認するために当面の活動状況を確認した後に認定しました。また、利用登録団体及びサークル等からの様々な随時相談時や年1回行う施設利用者懇談会、生涯学習説明会においても、機会あるごとにより良い団体運営・活動のあり方などについて説明を行いました。



## 教育委員会の自己点検・評価

### ・達成度

特に方針の推進になった点

市民が身近な所で、情報の収集や学習ができるようにするためには、各学習センターの役割は大きくなります。つきみ野学習センターでは、センター祭りにおいて、PR等の効果により参加人数が1,379人の予定から実績が1,649人になり参加者を増やすことができました。

未達成の点

各学習センターでは、それぞれ地域文化振興事業を実施していますが、天候や、祭り等の実施日数の減、改修工事等の理由により、参加人数は予定を下回り、達成度は低くなっています。

### ・課題

各学習センターで行っている地域文化振興事業については、天候や建物の改修工事などで、参加者数が目標を下回っていますが、減少の原因が物理的要因のみであるかを検証し、実施事業の内容により参加者が少ない場合には、どのような事業を行ったら参加者が増えるのかを検討します。

また、情報収集や提供により、さらなる地域活動の支援体制を整えます。

## 大項目 2 グループ活動への支援



### 中項目 (2) 地区単位活動への支援

<目標>

- ・広域的・全市的なテーマ別グループ活動への支援とは異なり、テーマ別活動の所管課等の持つ資源を効果的に引き出すなど、より地区の実情に配慮した対応を行うため、連携・協力などのコーディネート機能に重点を置いた支援を目指します。

## 小項目 2 学習支援システムの普及・活用促進

<方針>

- ・各学習センターにおける学習交流支援システム（市民が企画する講座など広く一般に働きかける事業への支援システム）の普及・活用促進を図り、地区における人材育成や学習成果の社会還元を充実させます。

### 平成 19 年度 of 取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

#### (1) 生涯学習センター地域文化振興事業（再掲）

参加団体で組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、10月13日(土)・14日(日)の2日間、生涯学習センターを会場に、サークル等の合同発表会（展示・発表・実演・上映会）として「生涯学習センターまつり」を開催しました。

<決算額の内訳>

- ・業務委託料 70千円

#### (2) 林間センター地域文化振興事業（再掲）

参加団体で組織した実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に準備・運営に携わる事業として、林間学習センターで体験学習を中心とした「夏休みちびっこパラダイス」を7月26日(木)から28日(土)までの3日間、利用サークルの合同発表会「林間学習センターまつり りんぶん祭」を10月21日(土)22日(日)の2日間、市内アマチュア劇団の発表会である「りんぶん村の芝居小屋」を20年3月16日(日)に開催しました。

<参加者数>

- ・夏休みちびっこパラダイス.....参加11団体、参加者699人
- ・林間学習センターまつり りんぶん祭.....参加38団体、来館者1,559人
- ・りんぶん村の芝居小屋.....参加6劇団、来場者113人、出演者27人

<決算額の内訳>

- ・業務委託料 180千円

#### (3) 渋谷学習センター地域文化振興事業（再掲）

参加団体で組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、3月2日(日)に、渋谷学習センターで「渋谷素人演芸大会」を、10月20日(土)に、「渋谷学習センターまつり」を開催しました。

< 決算額の内訳 >

・業務委託料 105千円

(4) つきみ野学習センター地域文化振興事業(再掲)

参加団体で組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、11月10日(土)、11日(日)に、つきみ野学習センターを会場に、サークル等の合同発表会として「つきみ野学習センターまつり」を開催しました。

< 決算額の内訳 >

・業務委託料 70千円

(5) 桜丘学習センター地域文化振興事業(再掲)

参加団体で組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、11月3日、4日、10日の3日間、桜丘学習センターを会場に、サークル等の合同発表会(展示・発表・催し物など)として「桜丘学習センターまつり」を開催しました。

< 決算額の内訳 >

・業務委託料 70千円

## 教育委員会の自己点検・評価

### ・達成度

特に方針の推進になった点

サークル等による生涯学習センターまつりを開催し、地区における人材育成や学習成果の社会還元を充実させました。

未達成の点

学習センターの改修工事や団体会員の高齢化等の理由により、センターまつりの実行委員会を構成する参加団体が予定数に達せず、達成度は低いものとなっています。

### ・課題

各学習センターの地域支援事業については、事業内容をよく精査し、多くの市民が参加しやすい事業の展開を考えていきます。

館によってセンターまつりの参加団体が減っていますが、その原因の一つには干渉されずに活動をしたいという団体が増えたことがあると考えられます。この他にも地域性など館ごとに減少の要因があるのかを探り、対応策を考えます。

あわせて市民が企画する講座など広く一般に働きかける事業を支援する学習交流支援システムを活用し、新たな人材の発掘や育成をしていきます。

## 大項目 2 グループ活動への支援



### 中項目 (2) 地区単位活動への支援

#### <目標>

- ・広域的・全市的なテーマ別グループ活動への支援とは異なり、テーマ別活動の所管課等の持つ資源を効果的に引き出すなど、より地区の実情に配慮した対応を行うため、連携・協力などのコーディネート機能に重点を置いた支援を目指します。

## 小項目 3 担い手の発掘・育成・主体創出等への連携協力・支援

#### <方針>

- ・市内各課・機関や団体等が各分野の担い手の発掘・育成・主体創出等で社会教育的事業を行う場合に、各学習センターが共催事業とするなど、連携・協力・支援を行います。
- ・各学習センターに社会教育指導員を充実配置し、社会教育主事など専門職員による指導のもと、地区単位活動の連携推進業務を担当させながら、地区の市民感覚と行政・共益への理解とを併せ持つ人材を持続的に地区へ輩出していきます。

### 平成 19 年度 of 取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

#### (1) 生涯学習センター地域文化振興事業(再掲)

参加団体で組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、10月13日(土)・14日(日)の2日間、生涯学習センターを会場に、サークル等の合同発表会(展示・発表・実演・上映会)として「生涯学習センターまつり」を開催しました。

##### < 決算額の内訳 >

- ・業務委託料 70千円

#### (2) 林間センター地域文化振興事業(再掲)

参加団体で組織した実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に準備・運営に携わる事業として、林間学習センターで体験学習を中心とした「夏休みちびっこパラダイス」を7月26日(木)から28日(土)までの3日間、利用サークルの合同発表会「林間学習センターまつり りんぶん祭」を10月21日(土)22日(日)の2日間、市内アマチュア劇団の発表会である「りんぶん村の芝居小屋」を20年3月16日(日)に開催しました。

##### < 参加者数 >

- ・夏休みちびっこパラダイス.....参加11団体、参加者699人
- ・林間学習センターまつり りんぶん祭.....参加38団体、来館者1,559人
- ・りんぶん村の芝居小屋.....参加6劇団、来場者113人、出演者27人

##### < 決算額の内訳 >

- ・業務委託料 180千円

(3) 渋谷学習センター地域文化振興事業(再掲)

参加団体で組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、3月2日(日)に、渋谷学習センターで「渋谷素人演芸大会」を、10月20日(土)に、「渋谷学習センターまつり」を開催しました。

<決算額の内訳>

・業務委託料 105千円

(4) つきみ野学習センター地域文化振興事業(再掲)

参加団体で組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、11月10日(土)、11日(日)に、つきみ野学習センターを会場に、サークル等の合同発表会として「つきみ野学習センターまつり」を開催しました。

<決算額の内訳>

・業務委託料 70千円

(5) 桜丘学習センター地域文化振興事業(再掲)

参加団体で組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、11月3日、4日、10日の3日間、桜丘学習センターを会場に、サークル等の合同発表会(展示・発表・催し物など)として「桜丘学習センターまつり」を開催しました。

<決算額の内訳>

・業務委託料 70千円

## 教育委員会の自己点検・評価

- ・達成度

- 特に方針の推進になった点

- 各学習センターでは、実行委員会形式で学習センターまつりを行っていますが、参加予定団体数が下回ったところがあり、中程度の達成度となっています。

- 未達成の点

- 学習センターまつりにおいては、開催日数の減や、建物修繕工事などにより、5館中3館で、参加団体が予定数を下回りました。

- ・課題

- 昨今では、働きざかりや、子育て中の方は、地域文化活動に参加する余裕がなくなっています。

- これからの、地域文化振興のために担い手となる人材を発掘するためには、団塊の世代の人々で定年者の活用が必要となってくることから、行政からのPRを積極的に行い、参加意識の高揚を図り、担い手の発掘・育成等を今後も継続的に行っていきます。

## 大項目 2 グループ活動への支援



### 中項目 (2) 地区単位活動への支援

#### <目標>

- ・広域的・全市的なテーマ別グループ活動への支援とは異なり、テーマ別活動の所管課等の持つ資源を効果的に引き出すなど、より地区の実情に配慮した対応を行うため、連携・協力などのコーディネート機能に重点を置いた支援を目指します。

## 小項目 4 持続的な支援

#### <方針>

- ・庁内各課・機関等の地区単位活動支援について、普及・活用・浸透を図ります。
- ・庁内各課・機関等の地区単位活動支援について、人材育成等が十分に行き渡り、事業の理解・行動の担い手となる市民層が充実した地区から順次支援対象を市民自治区とし、個別の単位集団への支援業務等を委ねていきます。

### 平成 19 年度の取組み <支えている事務事業>

【】内前年度

#### (1) スポーツ関係団体支援事業(再掲)

次の団体に対して補助金を交付しました。

##### <決算額の内訳>

・地区体育振興会(11地区)補助金	2,420千円
・体育協会	1,600千円
・スポーツ少年団	76千円
・レクリエーション協会	30千円
・軽スポーツ協会	15千円

#### (2) 生涯学習情報提供・学習相談事業(再掲)

- ・庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

##### <学習情報の提供実績>

・サークル・団体情報	3,501件【3,222件】
・事業・講座情報	3,540件【2,026件】
・資格・試験情報	61件【27件】
・ボランティア講師制度情報	441件【150件】
・市民端末利用者数 (生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)	17,820人【26,123人】
・その他	8,332件【5,884件】

##### <決算額の内訳>

・社会教育指導員報酬	3,240千円
・その他	321千円



### (3) 社会教育関係団体登録・育成事業（再掲）

社会教育関係団体登録の継続認定のための届出書を提出する際に、望まれる団体活動についての助言を行いました。新規認定の際は、社会教育関係団体に求められる使命を十分説明し、その適格性を確認するために当面の活動状況を確認した後に認定しました。また、利用登録団体及びサークル等からの様々な随時相談時や年1回行う施設利用者懇談会、生涯学習説明会においても、機会あることにより良い団体運営・活動のあり方などについて説明を行いました。

### (4) 親子ふれあい推進事業

ふれあい広場は推進委員会に、また親子ウォークラリーは青少年指導員連絡協議会に委託して実施しました。

<ふれあい広場>

- ・開催期間 平成19年10月から平成20年1月まで
- ・開催場所 地区実行委員会12地区、小学校区実行委員会3地区
- ・入場者数 18,000人【17,217人】

<ウォークラリー>

- ・実施日 平成19年7月21日（土）
- ・スタート・ゴール やまと公園【大和市役所】
- ・参加者数 128組507名【163組609名】

<決算額の内訳>

- ・ふれあい広場委託 1,950千円
- ・ウォークラリー委託 780千円

### (5) 大和市家庭・地域教育活性化会議支援事業

- ・推進委員会、地域青少年健全育成会（3地区）に対して補助金を交付しました。

<決算額の内訳>

- ・補助金：1,500千円
- ・その他：37千円

## 教育委員会の自己点検・評価

### ・達成度

特に方針の推進になった点

地区単位活動については、持続的な支援が必要なことから、協議会や委員会の開催、生涯学習に対する情報提供、学習相談などを実施しましたが、ほぼ予定どおり行うことができ、達成度は高くなっています。

未達成の点

社会教育関係団体の認定・登録件数については、高齢化や団体としての継続の問題などから、予定数に達しませんでした。

### ・課題

持続的な活動を行うためには、地域の特性、年齢層に応じた活動展開が必要となってきます。親子でいっしょにできるような活動を通じて、事業の継承ができればさらに良いと考えます。

## 大項目 3 学習空間の確保



### 中項目 (1) 既存の生涯学習施設の充実

<目標>

- ・多様な市民ニーズに対応すべく、既存の関連施設の高度活用等を図っていきます。

### 小項目 1 利用しやすい施設づくり

<方針>

- ・利用者の利便性向上のために、施設スタッフの充実と施設利用システムの改善等に努めていきます。
- ・快適な施設づくりのために、設備の改善等に努めていきます。

#### 平成 19 年度の取組み <支えている事務事業>

【】内前年度

##### (1) 郷土民家園管理運営事業(再掲)

指定管理者による管理運営を行いました。

指定管理者(財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団)

年間入園総数 29,743人【年間入園者数 32,662人】

<決算額の内訳>

- ・郷土民家園指定管理委託 8,357千円
- ・その他 71千円

##### (2) つる舞の里歴史資料館維持管理事務(再掲)

適宜修繕等を行い、施設を良好に維持するため管理に努めました。

<決算額の内訳>

- ・施設管理・保守等委託料 1,917千円
- ・収蔵品管理・映像展示システム賃貸借料 1,323千円
- ・施設維持管理用光熱水費 1,252千円
- ・その他 877千円

##### (3) 文化財保管施設維持管理事業(再掲)

文化財保管施設の維持管理を行いました。

<決算額の内訳>

- ・施設維持管理用光熱水費 395千円
- ・施設管理・保守等委託料 333千円
- ・その他 298千円

##### (4) 下鶴間ふるさと館維持管理運営事業(再掲)

指定管理者による管理・運営を行いました。

・入館者数 6,883人【11,029人】

<決算額の内訳>

- ・下鶴間ふるさと館指定管理委託 11,871千円
- ・施設案内リーフレット印刷 94千円
- ・その他 69千円

#### (5) スポーツセンター施設管理運営事業

スポーツセンターの管理運営を財団法人大和スポーツ・よか・みどり財団に指定管理者として継続期間です。

< 決算額の内訳 >

・指定管理委託料	163,889千円
・施設予約システム賃借料	8,040千円
・陸上競技場写真判定機賃借料	2,747千円
・第1体育室床改修工事	5,124千円
・剣道場床塗装改修工事	1,944千円
・その他	1,965千円

#### (6) 野球場施設管理運営事業

指定管理者による管理運営の継続期間です。

引地台野球場のラバーフェンスの改修工事をしました。

< 決算額の内訳 >

・指定管理委託料	57,412千円
・野球場土地賃借料	19,784千円
・施設修繕	13,598千円
・管理運営委託料	929千円
・その他	878千円

#### (7) 庭球場施設管理運営事業

指定管理者による管理運営の継続期間です。

< 決算額の内訳 >

・庭球場土地賃借料	15,456千円
・指定管理委託料	4,899千円
・管理運営委託料	936千円

#### (8) スポーツ広場管理運営事業

指定管理者による管理運営の継続期間です。

桜森、宮久保スポーツ広場

(財)大和市スポーツ・よか・みどり財団による施設の管理運営をしました。

山谷、南林間、渋谷西

< 決算額の内訳 >

・管理運営委託料	9,247千円
・土地賃借料	8,386千円
・指定管理委託料	7,035千円

#### (9) 野球場施設大規模改修事業

・平成18年度から2ヶ年で実施している引地台野球場のスコアボードLED改修工事が完了しました。平成19年度はLED改修(LED交換)工事を実施しました。

・宮久保野球場の安全対策として 南側部分に防球ネットを設置しました。

< 決算額の内訳 >

・引地台野球場スコアボードLED部改修工事	33,600千円
・宮久保野球場防球ネット設置工事	8,112千円

#### (10) 引地川公園ゆとりの森芝生グラウンド管理運営事業

引地川公園ゆとりの森芝生グラウンドが完成し、7月1日より供用を開始しました。

< 利用実績 >

・476件	11,366人
-------	---------

< 決算額の内訳 >

- ・指定管理委託料 14,088千円
- ・管理運営委託料 2,595千円
- ・施設予約システム改修委託 2,804千円
- ・ゆとりの森芝生グラウンド備品等 4,629千円

**(1.1) 特別教室開放事業**

市立小・中学校の特別教室を開放しました。また、光丘中学校建て替えに伴う新規開放事業の準備を行いました。

< 特別教室開放実績 >

- ・中央林間小学校 40件【 28件】
- ・渋谷小学校 189件【 176件】
- ・引地台中学校 85件【 102件】
- ・渋谷中学校 1,179件【1,169件】

< 決算額の内訳 >

- ・地域と学校の連携による大和市立渋谷中学校開放事業負担金 6,858千円
- ・特別教室開放事業用消耗品 ほか 1,449千円

**(1.2) 生涯学習センターホール施設維持管理事業**

施設の日常的な維持管理業務や修繕などを行いました。

< 決算額の内訳 >

- ・業務委託料 10,740千円
- ・その他 1,804千円

**(1.3) 学習センター施設維持管理事務**

施設の日常的な維持管理業務や修繕などを行いました。

< 決算額の内訳 >

- ・施設管理・保守等委託料 55,049千円
- ・需用費 30,432千円
- ・駐車場使用料 4,106千円
- ・その他 3,266千円

**(1.4) 生涯学習センター施設整備事業**

平成20年度に実施する工事のための基本設計等を行いました。

< 事業内容 >

- ・林間学習センターバリアフリー工事設計業務委託
- ・生涯学習センターホール耐震補強工事設計業務委託
- ・生涯学習センターホール耐震補強工事（契約）  
（平成19年度～平成20年度債務負担行為）

< 決算額の内訳 >

- ・林間学習センターバリアフリー工事設計業務委託 2,625千円
- ・生涯学習センターホール耐震補強工事設計業務委託 1,922千円
- ・その他 45千円

**(1.5) 学習センター会議室等貸出事務**

- ・施設利用に必要な団体登録申請に係る事務や登録後の各種変更申請の処理を行いました。
- ・また、会議室等の代理予約や使用料の収納、利用状況の統計事務、物品・備品の貸出などを行いました。

- ・市外、営利団体等でも電子予約システムを利用できるようにするため、受付システムの変更について調整を行いました。

#### (1.6) 学習センターホール貸出事務

生涯学習センターホールの抽選予約事務、随時予約事務、設備備品の貸出事務、使用料収納事務、インターネットによるホール行事の周知事務、利用状況統計事務などを行いました。

#### (1.7) 青少年キャンプ施設管理運営事業

このまさわキャンプ場を借上げ、青少年団体や親子に提供しました。

<利用者数等>

- ・泉の森ふれあいキャンプ場 14,462人【13,867人】  
開設日 3～11月 毎日  
12～2月 土日祝日
- ・このまさわキャンプ場 448人【559人】  
10泊11日開設(8月11日～20日)  
稼働率 62.2%【71.1%】

<決算額の内訳>

- ・泉の森ふれあいキャンプ場管理運営事業委託 6,800千円
- ・このまさわキャンプ場施設借上料 1,380千円
- ・その他 42千円

#### (1.8) 児童館管理運営事業

・単独児童館2館とコミセン併設児童館20館は、地域に密着した児童館の運営を行うため、指定管理者制度による管理運営を行いました。

・子安児童館のサッシ改修工事を実施しました。

<児童館22館の年間利用者総数>

- ・152,262人【146,229人】

<決算額の主な内訳>

- ・児童館指定管理者委託料 55,158千円
- ・子安児童館サッシ改修工事 432千円
- ・その他 69千円

#### (1.9) 児童ホーム管理運営事業

・放課後に小学校1～3年生の留守家庭の児童を児童ホームで預かり、児童の健全育成に努めました。

・障害児対応のための補助指導員を増員し、サービスの充実に努めました。

・夏休みの一時入所対象も引き続き全児童クラブで受け入れます。

<事業内容>

- ・公営児童ホーム：16ホーム  
(余裕教室利用7カ所、学校敷地内6カ所、民家等3カ所)  
児童ホーム指導員：44人【40人】  
補助指導員：通年32人【26人】(うち障害児対応14人)、  
夏休み19人【19人】  
入所児童数：714人(平成19年4月15日現在)  
夏休みのみ受け入れ児童数：77人
- ・民営事業委託：3箇所 児童数：150人

<決算額の内訳>

- ・指導員報酬 75,995千円
- ・補助指導員賃金 19,419千円

・ 民営委託事業 9,535千円 ・ その他 35,827千円

**(2.0) 青少年センター施設維持管理事務**

- ・ 施設の総合的な維持管理を行いました。
- ・ チーリングユニット（冷房装置の一部）の分解整備委託を行いました。

< 決算額の内訳 >

・ 施設管理・保守等委託料	6,649千円
・ 需用費（光熱水費・施設修繕等）	5,374千円
・ その他	573千円

**(2.1) 緑野青空子ども広場管理運営事業**

- ・ トイレ清掃、樹木剪定、草刈に係る業務を委託しました。
- ・ ツリーガーデンを含め、冒険遊び場として地域と協力して管理運営しました。

< イベント開催 >

食のイベント：9回【2回】

< 決算額の内訳 >

・ 負担金	: 1,581千円
・ その他	: 664千円

**(2.2) 図書館施設維持管理事務**

- ・ 施設整備点検・空調等保守点検業務委託・警備等業務委託をしました。
- ・ 光熱水費・各種保険料を執行しました。

< 決算額の内訳 >

・ 総合管理委託	12,075千円
・ 光熱水費	12,758千円
・ 施設修繕費	10,389千円
・ その他（施設管理委託）	6,753千円

**(2.3) 視聴覚ライブラリー管理運営事業（再掲）**

- ・ 視聴覚機材・教材、設備の貸出を実施しました。
- ・ 16ミリ映写機操作技術認定講習会を実施しました。
- ・ ビデオカメラ講習会を実施しました。
- ・ デジカメ・ビデオカメラプリント講習会を実施しました。
- ・ 新しいメディアの操作講習会（デジカメ講習会でDVDの資料作り）を実施しました。

< 決算額の内訳 >

・ 視聴覚教材購入費（DVDその他）	144千円
・ 視聴覚機材修繕費	497千円
・ その他	203千円

## 教育委員会の自己点検・評価

### ・達成度

特に方針の推進になった点

利用者の施設利用に対する利便性の向上のため、施設整備、維持管理等の事業、利用システム変更を実施しましたが、施設維持管理業務数や、利用者数は一部施設で開館日数や利用人数などで、予定数に達しないものもありましたが、概ね達成されています。

未達成の点

野球場や児童館の利用者数については、施設の改修工事により利用者数が減ったもので、庭球場の利用者数については、平日利用者の減少により予定数を下回ったものです。

### ・課題

施設は全体的に老朽化しているので、適正な施設整備や維持管理が不可欠であり、特に施設整備については、長期的な視点を持って取り組んでいきます。



## 大項目 3 学習空間の確保



### 中項目 (1) 既存の生涯学習施設の充実

<目標>

- ・多様な市民ニーズに対応すべく、既存の関連施設の高度活用等を図っていきます。

## 小項目 2 施設の効果的な運営

<方針>

- ・市民協働や民間委託などの手法も視野に入れながら、施設の効果・効率的運営を図っていきます。

### 平成 19 年度の取組み<支えている事務事業>

【】内前年度

#### (1) 郷土民家園管理運営事業(再掲)

指定管理者による管理運営を行いました。

指定管理者(財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団)

年間入園総数 29,743人【年間入園者数 32,662人】

<決算額の内訳>

- ・郷土民家園指定管理委託 8,357千円
- ・その他 71千円

#### (2) 下鶴間ふるさと館維持管理運営事業(再掲)

指定管理者による管理・運営を行いました。

・入館者数 6,883人【11,029人】

<決算額の内訳>

- ・下鶴間ふるさと館指定管理委託 11,871千円
- ・施設案内リーフレット印刷 94千円
- ・その他 69千円

#### (3) スポーツセンター施設管理運営事業(再掲)

スポーツセンターの管理運営を財団法人大和スポーツ・よか・みどり財団に指定管理者として継続期間です。

<決算額の内訳>

- ・指定管理委託料 1,638,889千円
- ・施設予約システム賃借料 8,040千円
- ・陸上競技場写真判定機賃借料 2,747千円
- ・第1体育室床改修工事 5,124千円
- ・剣道場床塗装改修工事 1,944千円
- ・その他 1,965千円

(4) 野球場施設管理運営事業(再掲)

指定管理者による管理運営の継続期間です。

引地台野球場のラバーフェンスの改修工事をしました。

< 決算額の内訳 >

・指定管理委託料	57,412千円
・野球場土地賃借料	19,784千円
・施設修繕	13,598千円
・管理運営委託料	929千円
・その他	878千円

(5) 庭球場施設管理運営事業(再掲)

指定管理者による管理運営の継続期間です。

< 決算額の内訳 >

・庭球場土地賃借料	15,456千円
・指定管理委託料	4,899千円
・管理運営委託料	936千円

(6) スポーツ広場管理運営事業(再掲)

指定管理者による管理運営の継続期間です。

桜森、宮久保スポーツ広場

(財)大和市スポーツ・よか・みどり財団による施設の管理運営をしました。

山谷、南林間、渋谷西、

< 決算額の内訳 >

・管理運営委託料	9,247千円
・土地賃借料	8,386千円
・指定管理委託料	7,035千円

(7) 引地川公園ゆとりの森芝生グラウンド管理運営事業(再掲)

引地川公園ゆとりの森芝生グラウンドが完成し、7月1日より供用を開始しました。

< 利用実績 >

・476件	11,366人
-------	---------

< 決算額の内訳 >

・指定管理委託料	14,088千円
・管理運営委託料	2,595千円
・施設予約システム改修委託	2,804千円
・ゆとりの森芝生グラウンド備品等	4,629千円

(8) 青少年キャンプ施設管理運営事業(再掲)

このまさわキャンプ場を借上げ、青少年団体や親子に提供しました。

< 利用者数等 >

・泉の森ふれあいキャンプ場	14,462人【13,867人】
開設日	3～11月 毎日
	12～2月 土日祝日
・このまさわキャンプ場	448人【559人】
	10泊11日開設(8月11日～20日)
稼働率	62.2%【71.1%】

< 決算額の内訳 >

・泉の森ふれあいキャンプ場管理運営事業委託	6,800千円
・このまさわキャンプ場施設借上料	1,380千円

・その他

42千円

(9) 児童館管理運営事業(再掲)

・単独児童館2館とコミセン併設児童館20館は、地域に密着した児童館の運営を行うため、指定管理者制度に管理運営を移行しました。

・子安児童館のサッシ改修工事を実施しました。

<児童館22館の年間利用者総数>

・152,262人【146,229人】

<決算額の主な内訳>

・児童館指定管理者委託料 55,158千円

・子安児童館サッシ改修工事 432千円

・その他 69千円

(10) 緑野青空子ども広場管理運営事業(再掲)

・トイレ清掃、樹木剪定、草刈に係る業務を委託しました。

・ツリーガーデンを含め、冒険遊び場として地域と協力して管理運営しました。

<イベント開催>

食のイベント：9回【2回】

<決算額の内訳>

・負担金 : 1,581千円

・その他 : 664千円

(11) 図書館施設維持管理事務(再掲)

・施設整備点検・空調等保守点検業務委託・警備等業務委託をしました。

・光熱水費・各種保険料を執行しました。

<決算額の内訳>

・総合管理委託 12,075千円

・光熱水費 12,758千円

・施設修繕費 10,389千円

・その他(施設管理委託) 6,753千円

(12) 視聴覚ライブラリー管理運営事業(再掲)

・視聴覚機材・教材、設備の貸出を実施しました。

・16ミリ映写機操作技術認定講習会を実施しました。

・ビデオカメラ講習会を実施しました。

・デジカメ・ビデオカメラプリント講習会を実施しました。

・新しいメディアの操作講習会(デジカメ講習会でDVDの資料作り)を実施しました。

<決算額の内訳>

・視聴覚教材購入費(DVDその他) 144千円

・視聴覚機材修繕費 497千円

・その他 203千円

## 教育委員会の自己点検・評価

### ・達成度

特に方針の推進になった点

施設の効果的な運営については、指定管理や委託などの手法により、最も適した施設運営を行っています。

一部施設で、施設修繕の理由などにより利用者数が予定数を下回っていますが、新しくできたゆとりの森芝生グラウンドやスポーツ広場では、大幅に利用者が増えており、施設の効果的な運営は概ね達成できていると考えています。

未達成の点

一部施設で、施設修繕などの理由により、利用者数が予定数を下回っています。

### ・課題

市民が利用しやすい施設とするために、アンケートなどにより常に市民ニーズを把握することが必要です。利用しやすさを計る代表的な指標である利用者数に注視しながら、利用を促すための運営を継続していきます。

運営を指定管理で行っている施設については、今後も審議会などで施設の管理状況を評価しながら、適正な運営を行っていきます。

## 大項目 3 学習空間の確保



### 中項目 (2) 新たな学習空間の確保

<目標>

- ・自然や史跡、広場など、学習空間の確保に努めていきます。

### 小項目 1 新たな学習空間の確保

<方針>

- ・閉じられた施設空間だけでなく、開放的な屋外空間の確保にも努めていきます。

#### 平成 19 年度の取組み <支えている事務事業>

【】内前年度

##### (1) 史跡・天然記念物保護事業(再掲)

植物標本・昆虫標本の保存管理、市指定天然記念物(樹木)の巡視、樹木診断を行いました。また市指定天然記念物は損害賠償責任保険に加入し、貴重な文化財の安全管理に努めました。

<決算額の内訳>

- ・大和市指定天然記念樹木診断委託 208千円
- ・その他 19千円

##### (2) 引地川公園ゆとりの森芝生グラウンド管理運営事業(再掲)

引地川公園ゆとりの森芝生グラウンドが完成し、7月1日より供用を開始しました。

<利用実績>

- ・476件 11,366人

<決算額の内訳>

- ・指定管理委託料 14,088千円
- ・管理運営委託料 2,595千円
- ・施設予約システム改修委託 2,804千円
- ・ゆとりの森芝生グラウンド備品等 4,629千円

##### (3) 未利用国有地スポーツ施設設置事業

南関東防衛局が基盤工事を行う予定であったが、局の都合により、工事年度が繰り越されたため、本市も予算を執行せずに減額補正を行いました。

##### (4) 特別教室開放事業(再掲)

市立小・中学校の特別教室を開放しました。また、光丘中学校建て替えに伴う新規開放事業の準備を行いました。

<特別教室開放実績>

- ・中央林間小学校 40件【 28件】
- ・渋谷小学校 189件【 176件】
- ・引地台中学校 85件【 102件】
- ・渋谷中学校 1,179件【 1,169件】

<決算額の内訳>

- |                   |         |
|-------------------|---------|
| ・地域と学校の連携による      |         |
| ・大和市立渋谷中学校開放事業負担金 | 6,858千円 |
| ・特別教室開放事業用消耗品 ほか  | 1,449千円 |

## 教育委員会の自己点検・評価

### ・達成度

特に方針の推進になった点

ゆとりの森芝生グラウンドの使用開始や学校特別教室の開放、また、天然記念物の適切な保存などにより、新たな学習の場や機会を確保しました。

未達成の点

国有地を借用したスポーツ広場の整備を行う予定でしたが、国の事情により達成することができませんでした。

### ・課題

新たな学習の場や機会の確保については、情報収集に努め、常にその可能性を探りながら、今後も引き続き努力していきます。

## 大項目 3 学習空間の確保



### 中項目 (3) 施設配置の再検討

<目標>

- ・生涯学習関連施設の今後のあり方を再検討していきます。

### 小項目 1 施設配置の再検討

<方針>

- ・施設概念を、広く自然や史跡等を含む活動空間としてとらえながら、取り巻く情勢の変化を踏まえて、今後の関連施設のあり方について再検討していきます。
- ・今後の関連施設のあり方は、市民や関連部署とともに検討していきます。

平成 19 年度の取組み <支えている事務事業 >

【】内前年度

#### (1) 文化会館建設基金管理事務

- ・寄附金の受入れ及び積立金の管理を行いました。

寄附件数 1 件 【3 件】

<決算額の内訳>

- ・寄附金 79 千円
- ・利子 3,675 千円

### 教育委員会の自己点検・評価

#### ・達成度

特に方針の推進になった点

文化施設の整備のため、基金の管理を適正に行いました。

未達成の点

未達成の点はありません。

#### ・課題

文化施設の整備については、広く市民の意見を聴くとともに、基金への寄付を募るなど、市民と行政が一体となった取り組みを進めていきます。

## 大項目 4 推進体制の確立



### 中項目 (1) 市民とともに推進する

<目標>

- ・生涯学習推進協議会の市民参加度を高め、協働による施策の立案・推進を図っていきます。
- ・個人・グループ単位の市民と共同した事業推進を図っていきます。

## 小項目 1 市民代表機関の充実

<方針>

- ・生涯学習推進協議会の市民メンバー比率を高めていきます。
- ・生涯学習推進協議会の機能を拡大していきます。

平成 19 年度の取組み <支えている事務事業>

【】内前年度

### (1) 生涯学習総合推進事業

- ・「第3次大和市生涯学習計画」に基づき、生涯学習施策の推進を図りました。
- ・大和市生涯学習推進協議会において、今後の効果的な施策推進のための方策を検討し、「学習機会の提供」の提言がなされました。

<決算額の内訳>

- ・生涯学習推進協議会委員謝礼(金) 116千円



## 教育委員会の自己点検・評価

- ・達成度

特に方針の推進になった点

生涯学習を市民とともに推進するためには、協議会などに市民のメンバーの比率を増やし、広く市民の声を取り入れることが必要です。

生涯学習推進協議会における公募市民メンバーの3人は、施策推進に積極的に寄与しており、概ね達成されています

未達成の点

未達成の点はありません。

- ・課題

協議会を活性化するための市民委員の比率向上、また男女共同参画の視点から女性委員の比率向上が望まれますが、現状では市民メンバーが10人中3人、女性委員も半数と特に問題はありません。

## 大項目 4 推進体制の確立



### 中項目 (1) 市民とともに推進する

#### <目標>

- ・生涯学習推進協議会の市民参加度を高め、協働による施策の立案・推進を図っていきます。
- ・個人・グループ単位の市民と共同した事業推進を図っていきます。

## 小項目 2 市民と協働ですすめる事業

#### <方針>

- ・ボランティア講師組織の自立化を支援していきます。
- ・学習グループの自主企画講座等の活発化を支援していきます。

### 平成 19 年度の取組み <支えている事務事業>

【】内前年度

#### (1) 講座等開催事業 (再掲)

各学習センター毎に、市民ニーズや社会情勢を捉えながら生涯各期に必要な課題や現代的課題に関する学習機会提供を行いました。

#### <事業内容>

- |               |                  |            |
|---------------|------------------|------------|
| ・生涯各期事業       | 乳幼児家庭教育講座等       | 77事業【69事業】 |
| ・現代的課題事業      | 人権平和事業や男女共同参画事業等 | 20事業【22事業】 |
| ・その他事業        | 音楽会や発表会等         | 29事業【32事業】 |
| ・協働事業 (渋谷中学校) |                  | 18事業【14事業】 |

#### <決算額の内訳>

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| ・社会教育指導員報酬         | 3,060千円 |
| ・講師謝礼ほか            | 2,352千円 |
| ・全国公民館総合補償制度保険料 ほか | 1,311千円 |

## 教育委員会の自己点検・評価

### ・達成度

特に方針の推進になった点

家庭教育学級等の講座への市民参加促進や、ボランティア講師の会への支援を行うとともに、市民団体が企画実施する講座等を開催することができたため、達成されています。

未達成の点

未達成の点はありません。

### ・課題

市民の自主的な取り組みを促進するため、学習グループの自主企画講座等を増やす仕掛けが必要です。

市民と協働で進める事業では、家庭教育の分野を充実していくべきと考えます。今後、関連する部署と協力して様々なサポート体制を確立するように努めます。

## 大項目 4 推進体制の確立



### 中項目 (2) 関連機関と連携して推進する

#### < 目標 >

- ・市の出資する財団・公社との役割分担を明確にして、相互補完と連携による事業推進を図っていきます。
- ・必要に応じて、高等教育機関や民間教育機関等との事業連携を図っていきます。

## 小項目 1 市が出資する財団・公社との連携

#### < 方針 >

- ・財団・公社の事業採算性と公益的責務をふまえた市の役割分担を明確にします。
- ・財団・公社の公益的責務に着目し、行政の事業領域を委ねていきます。

#### 平成 19 年度 の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

##### (1) スポーツ・よか・みどり財団支援事業

スポーツ、緑化推進活動、その他多様な余暇活動のための事業を実施している財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団を支援しました。

- ・(財)大和市スポーツ・よか・みどり財団運営費補助金

#### < 決算額の内訳 >

- ・補助金 173,829千円

## 教育委員会の自己点検・評価

### ・達成度

特に方針の推進になった点

(財)大和市スポーツ・よか・みどり財団の運営を支援することにより、余暇活動等のための多様な事業展開に寄与し、いつでも学べる機会の充実に向け成果を達成できました。

未達成の点

未達成の点はありません。

### ・課題

(財)大和市スポーツ・よか・みどり財団の自主、自立の運営のために、市からの派遣職員の削減を図っていく必要があります。

財団・公社との連携については、市との役割分担を明確にして市民にわかりやすい運営に努めます。

## 大項目 4 推進体制の確立



### 中項目 (2) 関連機関と連携して推進する

#### <目標>

- ・市の出資する財団・公社との役割分担を明確にして、相互補完と連携による事業推進を図っていきます。
- ・必要に応じて、高等教育機関や民間教育機関等との事業連携を図っていきます。

## 小項目 2 関係機関との連携

#### <方針>

- ・高度で専門的な学習機会の提供事業などを、大学や民間教育機関と連携して推進していきます。
- ・行政の事業領域の見直し。

#### 平成 19 年度の取組み<支えている事務事業>

【】内前年度

##### (1) 読書活動推進事業(再掲)

- ・各種おはなし会・文学講座などを開催しました。  
(実績) おはなし会 62回実施・1,674名参加  
読書講演会 全3回実施・延べ90名参加  
児童文学講座 全2回実施・延べ38名参加  
一日図書館員 3回実施・42名参加
  - ・大和市子ども読書活動推進会議の設置
  - ・大和市子ども読書活動推進実施計画の策定・実施
- #### <決算額の内訳>
- ・講師謝礼 150千円(30千円×5回)
  - ・保育謝礼 2千円(1千円×2回)
  - ・その他(クリーニング等) 9千円

## 教育委員会の自己点検・評価

### ・達成度

特に方針の推進になった点

読書講演会は、大学等の専門家講師により実施しており、講座回数も予定どおり実施できました。

未達成の点

未達成の点はありません。

### ・課題

活字離れが進んでいる昨今の状況を考えると、子どもの頃から本に親しみ、考える力、意見を言える力を養うことができるよう、今後もより良い本の提供や本と触れる機会を確保していきます。

また、質の高い生涯学習を推進するため、大学や民間教育機関との連携を進めていきます。

## 大項目 4 推進体制の確立



### 中項目 (3) 総合行政として推進する

#### <目標>

- ・ 関連部署による協議組織の機能を充実していきます。
- ・ 各部署が取り組みやすい環境を整えていきます。

## 小項目 1 全庁的協議組織の設置

#### <方針>

- ・ 生涯学習推進調整会議を設置し、全庁的な施策の推進を図ります。
- ・ 事業内容検討委員会及び特別教室開放推進委員会を設置し、事業調整を図ります。

### 平成 19 年度の取組み <支えている事務事業>

【】内前年度

#### (1) 特別教室開放事業 (再掲)

市立小・中学校の特別教室を開放しました。また、光丘中学校建て替えに伴う新規開放事業の準備を行いました。

##### <特別教室開放実績>

- |           |        |           |
|-----------|--------|-----------|
| ・ 中央林間小学校 | 40件    | 【 28件】    |
| ・ 渋谷小学校   | 189件   | 【 176件】   |
| ・ 引地台中学校  | 85件    | 【 102件】   |
| ・ 渋谷中学校   | 1,179件 | 【 1,169件】 |

##### <決算額の内訳>

- ・ 地域と学校の連携による
- ・ 大和市立渋谷中学校開放事業負担金 6,858千円
- ・ 特別教室開放事業用消耗品 ほか 1,449千円

#### (2) 生涯学習推進事業 (再掲)

- ・ 「第3次大和市生涯学習計画」に基づき、生涯学習施策の推進を図りました。
- ・ 大和市生涯学習推進協議会において、今後の効果的な施策推進のための方策を検討し、「学習機会の提供」の提言がなされました。

##### <決算額の内訳>

- ・ 生涯学習推進協議会委員謝礼 (金) 116千円



## 教育委員会の自己点検・評価

- ・達成度

- 特に方針の推進になった点

- 生涯学習の全庁的な協議組織については、生涯学習推進調整会議や特別教室開放推進委員会などを設置し、総合的な施策の推進を図りました。

- 未達成の点

- 未達成の点はありません。

- ・課題

- 協議会や調整会議においては、情報共有を進め、さまざまな課題や幅広い市民ニーズを考慮したうえで議論を進めることが重要です。

- 今後、これらの会議が十分機能を発揮するよう、会議の形態、開催頻度などを検討していきます。

## 大項目 4 推進体制の確立



### 中項目 (3) 総合行政として推進する

#### <目標>

- ・関連部署による協議組織の機能を充実していきます。
- ・各部署が取り組みやすい環境を整えていきます。

## 小項目 2 各部署の取り組み推進

#### <方針>

- ・全庁的な意識づくり、共通認識を醸成していきます。
- ・具体的な取組方針や、事業フレームを明確にしていきます。
- ・生涯学習主管部署が、全庁にわたる関連事業についての進行管理を行っていきます。

### 平成 19 年度の取組み <支えている事務事業 >

【】内前年度

#### (1) 生涯学習推進事業(再掲)

- ・「第3次大和市生涯学習計画」に基づき、生涯学習施策の推進を図りました。
- ・大和市生涯学習推進協議会において、今後の効果的な施策推進のための方策を検討し、「学習機会の提供」の提言がなされました。

#### <決算額の内訳>

- ・生涯学習推進協議会委員謝礼(金) 116千円

#### (2) 出前講座「どこでも講座」事業(再掲)

講習可能な内容をメニュー化し、10名以上の市民により構成された団体の求めに応じて職員を派遣しました。

#### (3) 読書活動事業(再掲)

- ・各種おはなし会・文学講座などを開催しました。
- (実績) おはなし会 62回実施・1,674名参加  
読書講演会 全3回実施・延べ90名参加  
児童文学講座 全2回実施・延べ38名参加  
一日図書館員 3回実施・42名参加
- ・大和市子ども読書活動推進会議の設置
- ・大和市子ども読書活動推進実施計画の策定・実施

#### <決算額の内訳>

- ・講師謝礼 150千円(30千円×5回)
- ・保育謝礼 2千円(1千円×2回)
- ・その他(クリーニング等) 9千円

## 教育委員会の自己点検・評価

- ・達成度

- 特に方針の推進になった点

- 団体サークル情報の作成や「どこでも講座」の開催等、各部署と連携を取りながら事業を実施しました。

- 未達成の点

- 読書活動の出張事業については、出張事業スタッフ不足により、予定数には達しませんでした。子ども読書活動推進会議での取り組みは、今後も推進していきます。

- ・課題

- 生涯学習に対する全庁的な意識づくりについては研修等の導入を、また読書活動は事業の見直し等スタッフ不足を補う方策を考えていきます。

## 大項目 4 推進体制の確立



### 中項目 (3) 総合行政として推進する

#### <目標>

- ・関連部署による協議組織の機能を充実していきます。
- ・各部署が取り組みやすい環境を整えていきます。

## 小項目 3 生涯学習所管部門の整備・充実

#### <方針>

- ・明確な目標設定のもと、推進体制（組織）を一元化していきます。
- ・適材適所の人材配置に努めます。

### 平成 19 年度の取組み<支えている事務事業>

【】内前年度

#### (1) 社会教育委員会議運営事務

社会教育委員会議を開催するほか、神奈川県社会教育委員連絡協議会の地区研究会、研修会に出席しました。

- ・社会教育委員会議 年 4 回開催【年 4 回】
- ・社会教育委員会議 臨時会 年 1 回開催【年 3 回】
- ・地区研究会 年 3 回開催【年 2 回】
- ・研修会 年 1 回開催【年 1 回】
- ・総会 年 1 回開催【年 1 回】
- ・生涯学習振興基金選考会 1 回開催【年 1 回】

#### <決算額の内訳>

- ・社会教育委員報酬 490 千円
- ・その他 46 千円

#### (2) 文化財保護審議等運営事務

市指定重要文化財の指定案件について審議する。文化財保護審議会の開催、文化財保護指導委員による巡回調査を実施しました。

- ・文化財保護審議会 開催回数 2 回【2 回】
- ・文化財保護指導委員会議 開催回数 2 回【2 回】
- ・指定文化財等巡回調査 年間 2 回実施【年間 2 回】

#### <決算額の内訳>

- ・文化財保護指導員報酬 365 千円
- ・文化財保護審議会委員報酬 54 千円

#### (3) 生涯学習総合推進事業（再掲）

- ・「第 3 次大和市生涯学習計画」に基づき、生涯学習施策の推進を図りました。
- ・大和市生涯学習推進協議会において、今後の効果的な施策推進のための方策を検討し、「学習機会の提供」の提言がなされました。

#### <決算額の内訳>

- ・生涯学習推進協議会委員謝礼（金） 116 千円

#### (4) 読書活動推進事業（再掲）

- ・各種おはなし会・文学講座などを開催しました。
  - （実績） おはなし会 62回実施・1,674名参加
  - 読書講演会 全3回実施・延べ90名参加
  - 児童文学講座 全2回実施・延べ38名参加
  - 一日図書館員 3回実施・42名参加
- ・大和市子ども読書活動推進会議の設置
- ・大和市子ども読書活動推進実施計画の策定・実施
  - < 決算額の内訳 >
    - ・講師謝礼 150千円（30千円×5回）
    - ・保育謝礼 2千円（1千円×2回）
    - ・その他（クリーニング等） 9千円

### 教育委員会の自己点検・評価

- ・達成度
  - 特に方針の推進になった点
  - 生涯学習に関わる地域課題等の解決や、事業の効果的な推進の方策、事業の評価などは、推進会議や審議会などで検討・協議をし、事業の円滑な推進や充実に寄与することができています。
  - 未達成の点
  - 未達成の点はありません。
- ・課題
  - 会議録の公開等、積極的な情報公開により、広く市民の意見を聴くことのできる体制づくりを行うとともに、引き続き適材適所の人材の配置や、人材養成のための研修の実施に努めていきます。